

「北九州市子ども読書プラン（第5次北九州市子ども読書活動推進計画）」最終案について

1 計画の進捗状況

令和7年10月6日教育文化委員会で報告のとおり、次期「北九州市子ども読書プラン（第5次北九州市子ども読書活動推進計画）」の素案に対するパブリックコメントを実施した。このたび、令和7年度第3回「北九州市子ども読書活動推進会議」において、市民意見を踏まえて修正等の議論を重ね、最終案を作成したため報告するもの。

2 市民意見募集結果について

「北九州市子ども読書プラン（第5次北九州市子ども読書活動推進計画）」（素案）に対する市民意見の募集結果 ……【資料1】

3 市民意見に対する本市の考え方について

「提出された意見の概要及び市の考え方」 ……【資料2】

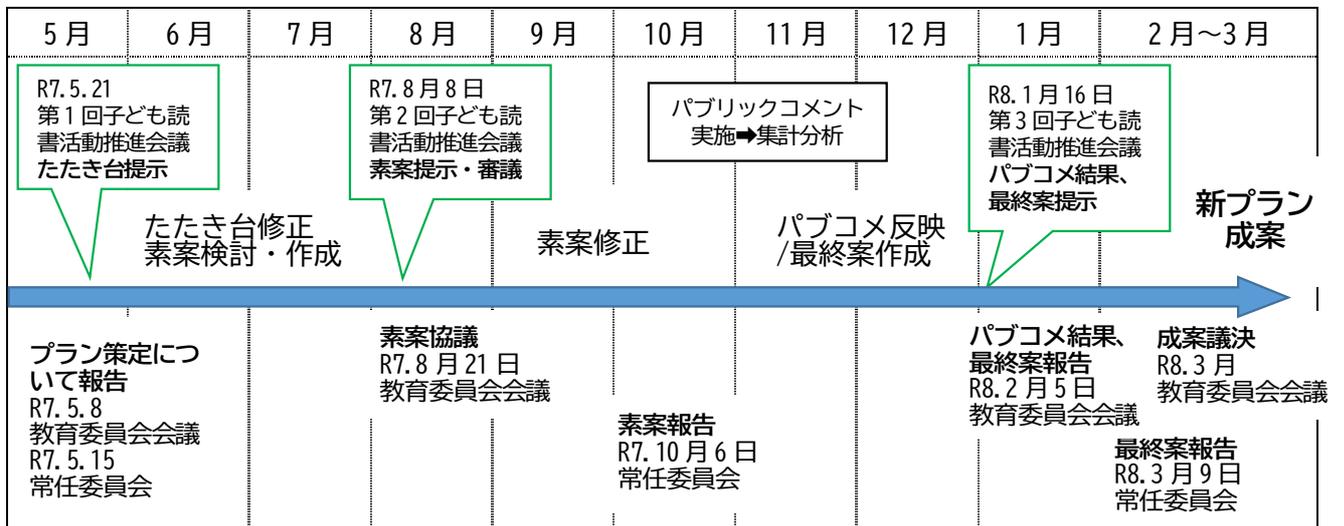
4 市民意見を踏まえた修正について

「市民意見を踏まえた修正」 ……【資料3】

※参考 第5次北九州市子ども読書プラン（最終案） 概要版 ……【資料4】
第5次北九州市子ども読書プラン（最終案） 冊子 ……【資料5】

5 スケジュール

第5次子ども読書プラン（素案）に対する市民意見を踏まえて修正を行った最終案を常任委員会へ報告後、令和8年3月を目途に成案予定である。



「北九州市子ども読書プラン(第5次北九州子ども読書活動推進計画)」
(素案)に対する市民意見の募集結果

1 意見募集期間

令和7年10月15日(水)から令和7年11月9日(日)まで

2 意見提出状況

- (1) 意見提出者 96名
 (2) 提出数 182件
 (3) 提出方法
 ア オンライン:74名
 イ FAX:10名
 ウ 郵送:1名
 エ 持参:9名
 オ その他:2名

(4) 意見内訳

内 訳	件 数
全体にかかわるもの	2 件
第1章 計画の策定にあたって	4 件
第2章 これまでの取組みの成果と課題等	9 件
第3章 これからの子ども読書活動推進計画	164 件
1 目指す姿«ビジョン»	7 件
2 3つの方向性«ミッション»	7 件
3 取組みの方針と成果指標	4 件
4 主要施策«アクション»	146 件
5 3つの方向性・取組みの方針・主要施策の関連性	0 件
その他、図書館にかかわるもの	2 件
その他、本計画には直接かわらないもの	1 件

(5) 計画への意見反映結果

内 訳	件 数
① 意見の主旨が本計画に記載されていると考えられるもの	80 件
② 本計画に追加・修正するもの	7 件
③ 本計画に追加・修正はしないが引き続き検討するもの	25 件
④ 今後の取組みの参考とするもの	67 件
⑤ その他	3 件

【北九州市子ども読書プラン（素案）】

【意見の内容】

- ① プランの趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- ② プランの今後の進め方等に対する考え方を述べた意見
- ③ プランの内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- ④ その他の意見

【計画への意見反映結果】

- ① 意見の趣旨が本計画に記載されていると考えられるもの
- ② 本計画に追加・修正するもの
- ③ 本計画に追加・修正はしないが引き続き検討するもの
- ④ 今後の取組の参考とするもの
- ⑤ その他

NO.	意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果
全体にかかわるもの				
1	図書館はもとより、学校、家庭、地域などがしっかり連携をとって進めることも必要だと思うが、素案に連携の必要性も盛り込まれているので、よいものだと思う。次期プランに基づき、子どもたちの一層の読書習慣の向上を期待する。	素案における連携重視の方針にご評価をいただきありがとうございます。次期プランに基づき子どもたちの読書習慣が一層向上するよう、着実にプランを推進し、読書活動を充実させてまいります。	①	①
2	頑張ろうと挑戦する人を応援するためにも、読書をしてほしいと思います。本の世界を通じて、歴史上の人物の生き様や考え方に触れることができます。	本の世界を通じて得られる知恵や教訓は、子どもたちが未来を切り拓くための大きな力になると考えます。本プランでも、読書が子どもたちの探求心や行動力を育む重要な手段であると位置づけ、そのための環境整備を進めてまいります。	①	①
第1章 計画の策定にあたって				
3	デジタル化や多様性が進む社会情勢をしっかりと捉え、現在のニーズに合わせたプランとして見直しを図る姿勢に感謝する。市全体でこのような取り組みの土台を築くことで、すべての子どもたちが読書から得られる豊かな恩恵を受けられると確信している。この包括的な計画が、未来を担う子どもたちの心の成長を力強く支えてくれるよう応援する。	デジタル化や多様化が進む社会情勢を捉え、現在のニーズに合わせたプランとして見直しを図る本市の姿勢にご理解をいただきありがとうございます。常に時代の変化に対応し、実効性のある施策を展開できるよう努めてまいります。この包括的な計画が、未来を担う子どもたちの心の成長を力強く支えるものとなるよう、子どもたちの健やかな成長を支える読書環境を整備してまいります。	①	①
4	本計画が「市町村子ども読書活動推進計画」として位置づけられているだけでなく、「北九州市こどもまんなか教育プラン」や「北九州市立図書館基本計画」とも連携しているという点に、市全体の連携体制の強さを感じました	ご指摘の通り、本計画が市の様々な上位計画と連携し、市全体で一体的に推進する体制こそが、子どもたちの読書環境を大きく向上させるものと認識しており、今後も関係部局・機関との連携を強化しながら、計画を着実に推進してまいります。	①	①
5	子ども図書館、学校図書館、地区図書館が「三位一体となって子どもの読書活動推進に取り組む体制が整った」という第1章の記述に心強さを感じました。この連携体制が、今後も強固に継続されることを期待しています。	子ども図書館、学校図書館、地区図書館が「三位一体」となって読書活動推進に取り組む強固な連携体制こそが、子どもたちの読書活動を地域全体で支え、推進していく基盤であると認識しております。今後も関係機関・団体との連携をさらに強化し、子どもたちの豊かな読書環境の実現に努めてまいります。	①	①
6	「北九州市子ども読書活動推進条例」に基づき、長年にわたり読書活動を推進してきたことを知り、大変素晴らしいと感じました。今回のプランが、子どもたちの読書習慣形成に繋がることを期待しています。	本市では「子ども読書活動推進条例」に基づき、子どもたちが読書に親しみ、豊かな心を育むことができるよう、長年にわたり様々な取組を進めてまいりました。本プランにおいても、子どもたちが自ら読書に親しむ習慣を育めるよう、計画を着実に推進してまいります。	①	①
第2章 これまでの取組みの成果と課題等				
7	家庭と学校と図書館を上手に合わせた素晴らしい計画だと思う。本離れの現代でも、北九州市の子どもの読書の状況は全国平均より良好であることを企業誘致等の際に活用しているか。全国学力調査が政令指定都市の中で低いことは報道されており、子育て世代の北九州への移住にはマイナスであるが、本に親しむ環境があるのは大きなプラスとなるので、広報に有効活用しているか気になる。	本市の子どもの読書環境が全国平均と比較して良好であるという数値について、子育て世代の定住促進に向けた広報活動での活用は有益な視点であると認識しております。ご意見を今後の広報戦略や関係部署との連携において、参考にさせていただきます。	②	④
8	読書好きであるかどうかが教科の学力の様々な部分と強い関連を示し、その関係の強固さが明らかになっている。長時間の読書は必ずしも学力の高さには結びつかないが、読み解く力や対人スキルアップにもつながるので、読むことの大切さは重要だと思う。	読書は、子どもの学力向上だけでなく、多様な能力を育む上で重要であるということを機会あるごとに幅広く周知するとともに、読書活動の推進に尽力してまいります。	①	①

9	「本を読まない」「図書館を利用しない」子どもが多い状況を改善するために自治体レベルでこのようなプランを進めてくれることに意味があると思います。	「本を読まない」「図書館を利用しない」子どもが多いという現状を把握することは子どもの読書推進の第一歩であると考えます。子どもたちが読書を好きになるよう、その背景にある課題を解決するため、引き続き取組みを進めてまいります。	①	①
10	学校図書館で仕事をするようになって、約2年になります。小学校は、授業やお昼休みに訪ねて来る機会も多いですが、中学校は、本好きな児童が主なのが現状です。	読書離れが進みやすい中学生にこそ、読書の楽しさを伝え、本に触れる機会を増やしていきたいと考えています。	②	①
11	子どもの読書量に関する課題は、ぜひ子どもにとって無理のない形で改善してほしいです。	本プランでは、読書習慣の形成を重要な目標としており、子どもたちが読書を楽しいと感じ、自ら進んで手に取るような機会を増やす施策を推進してまいります。	②	①
12	読書バリアフリー法の施行や、日本型学校教育の推進といった社会的変化を捉え、計画を見直すという姿勢は、現代教育のニーズに応えるものです。図書館がその中核を担う役割を果たすことを期待しています。	読書バリアフリー法の施行や日本型学校教育の推進といった子どもたちを取り巻く環境の変化に適切に対応し、実効性のある計画として推進してまいります。本プランにおいても、図書館がその専門性と公共性を活かし、様々な関係機関と連携しながら、子どもの読書活動を推進する中心的な役割を担っていくことを明記しております。今後もその役割を果たすべく、積極的に取り組んでまいります。	①	①
13	最近ネットやゲームの普及で読書する機会が薄れているので、読書する機会をつくるきっかけになる取り組みはとても良いと思った。	インターネットやゲーム、SNSの普及により、読書に親しむ機会が薄れてきています。本プランでは、子どもたちを取り巻くメディア環境の変化に対応し、読書への興味喚起や読書機会の創出に繋がる多様な施策を推進してまいります。	①	①
14	読書の「学ぶ、やすらぐ、楽しむ」という方向までの取組と具体的なアクションとして示され分かりやすいプランになっていると感じました。デジタルが進みその良さも勿論ありますが紙媒体としての本の良さや価値をこれからの子どもたちにも感じてほしいです。	電子書籍の活用を推進するとともに、紙媒体ならではの読書の喜びや、五感を通じて本に親しむ機会も大切にしていきます。デジタルとアナログ、双方の読書体験の価値を子どもたちに伝える取組みを進めてまいります。	①	①
15	素案15ページの2の文頭の言葉についてですが、『文部科学省中央教育審議会「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現（答申）」と、正式名称を書き添えたほうがいいのではないのでしょうか。	いただいたご意見を踏まえ、該当箇所の記載を文部科学省 中央教育審議会「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現（答申）」と修正いたします。	③	②
第3章 これからの子ども読書活動推進計画				
1 目指す姿《ビジョン》				
16	現行プランで『読書の対象』が記載されているのに、なぜ次期プランでは記載がないのでしょうか。漫画などを読むことから読書へつながると考えるので、読書の対象に漫画などを入れてはどうでしょうか。	プランのように公的な文書で「読書の対象」を具体的に明記した場合、そこに記載されていないものは「読書ではない」という誤解を与えかねないと考えております。そこで、次期プランには、あえて、「読書の対象」の記載はいたしません。これは、漫画などを否定するものではありません。今後は、ご意見の趣旨をしっかりと受け止め、学校などと連携し、「漫画などが読書への大切な入り口」となるという考え方の普及・啓発に努めてまいります。	③	④
17	「読書の意義」のところに示されている『読解力、表現力、思考力、想像力、問題解決力など多くの「生きる力」を身に付けることに役に立つもの』は、まさに的を射ています。「将来のキャリアに役立つ読書」という意味でも、子どもたちに読書を推奨することは、とても良いことだと思います。	読書が単なる知識習得に留まらず、社会で活躍するための基盤となる力を育むことを、本プランを通じて広く伝えてまいります。また、読書を通じて培われる知識や能力は、将来の選択肢を広げ、豊かなキャリア形成に繋がるものと認識しており、この視点も踏まえて読書活動を推進してまいります。	①	①
18	目指す姿がとてもよいと思う。多様な子ども達が交流できる場にもなったらよいと思う。	子どもたちが多様な形で交流できる場となることは、本プランが目指す「子ども同士や家族などと楽しく語りあう日常」の実現に向け、非常に重要な視点であると認識しております。ご意見は、今後の交流機会の創出と充実に関する取組みにおいて、参考にさせていただきます。	①	④
19	本は、子どもたちが広い世界と出会い心を豊かにするために大変重要なものであり、読書の機会を充実させることが、すべての子どもたちの可能性をより拓くことにつながると思う。	本プランが子どもたちの可能性を拓き、豊かな心を育む上で大変重要であるというお考えに深く共感いたします。ご期待に応えられるよう、本プランの「目指す姿」の実現に向けて、子どもたちが読書の楽しさに触れ、多様な世界と出会える機会を充実させてまいります。	①	①
20	継続した読書経験によって、読書に慣れ親しみ、読書の意義を体現する事に繋げていけると思う。如何に読書の時間を確保していくのかを検討してほしい。	読書が単なる「時間の枠」に留まらず、日々の生活の中で自ら進んで読書をし、語り合うというビジョンは、本プランが目指す理想の読書環境そのものです。いただいたご意見を踏まえ、子どもたちが継続的に読書に親しみ、その意義を体現していけるよう、読書時間の確保の重要性を深く認識いたします。今後も、多角的な視点からその解決策を検討し、読書活動を推進してまいります。	②	③
21	目指す姿が「すべての子ども」となっており、本市のすべての子どもが一人も取り残されることなく、本の面白さ、楽しさ、安らぎを感じられることを目指していることに共感します。	共感いただいた目指す姿を実現するため、今後も子どもたち一人ひとりに寄り添った読書支援と環境整備に努めてまいります。	①	①

22	子どもが読書を強制ではなく、自ら進んで楽しめるものになりませう。今後も本プランに期待しています。	子どもたちが新しい本と出会い、読書の世界を広げるきっかけとなるような工夫を凝らした取組みを、今後も積極的に行ってまいります。	①	①
2 3つの方向性<<ミッション>>				
23	「学ぶ」「やすらぐ」「楽しむ」の3つの方向性がよい。特に「やすらぐ」は現代社会で大事だと思う。また「楽しむ」は子どもには特に大事で、本の世界で心から楽しみ遊ぶなどの経験が楽しく学ぶことにも繋がると思う。	本プランの「学ぶ」「やすらぐ」「楽しむ」という3つの方向性が、読書の意義を深く理解し、子どもたちの健やかな成長に不可欠であるのご意見、大変心強く感じています。これらの方向性に基づき、今後も読書活動の推進に努めてまいります。	①	①
24	本を読むことを、楽しみより苦痛に感じている子どもたちも多いように感じる。勉強から離れた読書を進める方法があればよいと思う。	本プランでは、読書を単なる学習手段としてではなく、純粋な「楽しさ」として捉えることの重要性を「楽しむ」の方向性で掲げております。子どもたちが遊び感覚で本に親しめるようなイベントやプログラムの充実に努めてまいります。	②	④
25	「楽しむ」<読書を楽しもう>という点に興味があります。読書=勉強ではなく、読書=楽しい、心が動く体験として子どもたちに根づかせることが将来の自ら学び続ける力につながるのではないのでしょうか。子どもにとって読書が義務になってしまうと、読む意欲が育たないと思っています。	読書が義務として捉えられると意欲が育たないというご指摘の通り、本プランでは「学ぶ」だけでなく「楽しむ」「やすらぐ」という多角的な視点から、子どもたちが読書を心から楽しめるような施策を推進してまいります。	①	①
26	「やすらぐ」<本でくつろごう>という点に興味があります。子どもたちは学校生活やデジタル環境で常に刺激を受けています。本を読む時間はそうした日常から少し離れて「心を落ち着ける」「自分と向き合う」時間になるのではと思います。	子どもたちが日々受ける刺激の多い学校生活やデジタル環境から離れて、読書を通じて心を落ち着かせ、自分と向き合う時間を持つことの重要性は、本プランでも重視しております。	①	①
27	3つの方向性の一つである「学ぶ」という点に興味があります。子どもの頃は読書を通じて他者の考えに触れ、想像力や思考力、言語力を育むことができると思います。	ご指摘のとおり、読書は単なる知識習得に留まらず、他者の考えに触れ、想像力、思考力、言語力を育む深い学びの機会であると考えます。子どもたちの多様な能力育成に繋がる読書活動を推進してまいります。	①	①
28	「学ぶ」「やすらぐ」「楽しむ」の3つの柱はどれも大切なことだと思えます。それぞれの立場でできることも示されており、わかりやすかったです。	「学ぶ」「やすらぐ」「楽しむ」という3つの柱の重要性をご理解いただき、ありがとうございます。今後も本プランの理念を明確に伝え、家庭、学校、市立図書館、地域の各主体が連携して、読書活動を推進できるよう努めてまいります。	①	①
29	プランの「学ぶ」「やすらぐ」「楽しむ」という3つの方向性は、勉強のためだけでなく、自分の心を落ち着かせるため、楽しむために本を読むという視点に共感しました。	「学ぶ」「やすらぐ」「楽しむ」という読書の視点に共感いただき、ありがとうございます。読書が単なる勉強だけでなく、心の休息や楽しみをもたらすという多面的な価値を子どもたちに伝えることは、本プランの重要な理念です。	①	①
3 取組みの方針と成果指標				
30	これまでの第4次プランから見えてきた課題や、今の子どもたちの実態、あるいはこれからの社会の要請など、幅広い観点から、今後の方向性をとらえた実効性のあるプランであると思う。特に、読書習慣の確立期となる小学校の低学年の子どもたちに、読書のよさや楽しさを感じさせ、いかに本に親しませるかが勝負だと思うので、図書館はもとより、学校、家庭、地域などがしっかり連携をとって進めることも必要だと思う。	この時期の子どもたちが読書の楽しさを感じ、自ら本に親しむ習慣を育むことが、その後の読書活動の基盤となると認識しております。ご意見を参考に、小学校低学年の子どもたちを対象とした施策のさらなる強化に向けて、効果的な働きかけを進めてまいります。	②	④
31	現在の北九州市の小中学校の図書館の蔵書は充実し、読書に親しむ環境整備が整って来ていると思う。次のステップとして大切な事は、発達段階や興味・関心に応じた読書量と質の向上だと感じる。	子どもたちの年齢や関心に合わせた読書環境を整え、読書の量と質を高める努力を続けてまいります。	①	①
32	3つの方向性と取組の方針、成果指標、主要施策が構造的に示されておりわかりやすい。成果指標の「月に1冊も本を読まない小学生の割合」は、時間よりも中身、量より質を大切にすることだと理解した。	本プランが示す3つの方向性や各種施策、成果指標の構成について、「わかりやすい」とのご評価をいただき、大変光栄です。特に、成果指標における「月に1冊も本を読まない小学生の割合」は、これまでの「読書時間」による指標から、読書の中身や質をより重視する方針への転換を示すものであり、ご認識の通り、読書の質的向上と、子どもたちが自ら本と向き合う機会を創出することを目指しております。今後も、この方針に基づき、子どもたちの読書活動を推進してまいります。	①	①
33	発達段階に合わせ、本に親しみ、主体的に利活用できるように重点方針を定め、多彩な取組(施策)を示していることも、具体性があり、ぜひ推進していただきたいです。	子どもたちが主体的に読書に親しみ、利活用できるような環境づくりに引き続き取り組んでまいります。	①	①
4 主要施策<<アクション>>				
34	乳幼児期の読書施策において、成果指標の充実や「一人読み」の広がり、おはなし会の明確化・充実を提言する。	小学校低学年までの「一人読み」を含めた読書活動の重要性を改めて認識しております。ご意見を踏まえ、読み聞かせやおはなし会活動の更なる充実に向け、家庭や学校、地域と連携して積極的に取り組んでまいります。	②	④

35	育休前に、読み聞かせ講座を受けることができるとよい。北九州市の企業では、子どもが本に出会う大切さや、読み聞かせ実習という研修があったらいいと思う。 学校や図書館、家庭だけが頑張るのではなく、社会全体で子どもに『生きる力』を与える市であってほしい。	保護者向けの読書支援は、家庭における読書活動の推進に極めて有効であると認識しております。ご意見を踏まえ、乳幼児の保護者支援施策や企業連携の可能性について、今後、検討してまいります。	②	③
36	「くつろげる居場所」としての環境改善として、子ども専用の静音スペースや読書カフェ風の空間を設け、サードプレイスとしての魅力を高めてほしい。	本プランにおいても、図書館のサードプレイスとしての魅力を高めることは重要な課題であり、ご意見を参考に、利用者のニーズに即した空間整備や環境改善を進めてまいります。	②	④
37	「推し本展示」「マンガの世界展」「親子で作る絵本講座」など、楽しみながら学べるイベントを企画してほしい。	子どもたちが読書の楽しさを体験できる多様なイベントの企画は、本プランが目指す「楽しむ」という方向性に合致しており、非常に重要です。ご意見を参考に、魅力的で多様なイベント企画を継続的に進めてまいります。	②	④
38	各館での読み聞かせ・ブックカフェなどの活動をマップ化し、子どもや保護者が探しやすい仕組みを考えてもらいたい。	各館での読み聞かせやブックカフェなどの活動をマップ化するなど、情報提供の強化は、施策の効果を最大化する上で重要な視点であると認識しています。いただいた、子どもや保護者が探しやすい仕組みについては、今後、検討してまいります。	②	③
39	多文化共生の読書支援として、外国にルーツを持つ子どもたちに対して、やさしい日本語・母語対応の読み聞かせ会を行ってほしい。	多様な背景を持つ子どもたちへの支援は、本プランの重要な柱の一つです。ご意見を参考に、多文化共生社会に対応した読書支援の充実に努めてまいります。	②	④
40	紙の本の温かさと電子図書館の利便性といった、アナログとデジタルそれぞれの良さがあるということ、両者の価値をバランスよく伝える啓発を行ってほしい。	アナログとデジタル双方の価値を理解し、活用を促すことは、現代の読書環境において非常に重要な視点です。ご意見を参考に、両者の魅力を効果的に伝える広報やイベントについて、検討委員会で議論し、プランに反映してまいります。	②	②
41	電子図書館は、家から出られない子ども達、また、スマホへの依存傾向のある子ども達にもスモールステップで読書の機会確保につながりありがたい。	電子図書館の活用により、様々な状況にある子どもたちが読書の機会を得やすくなることから、本プランにおいても、電子書籍の普及・活用を積極的に推進し、多様な読書環境の整備に努めてまいります。	①	①
42	地域で行う読み聞かせの充実や地元企業などの協力等が実現すると、地域の学生や大人の自己有用感が高まり、地域全体のウェルビーイングにもつながると思う。	地域との連携を強化し、市民一人ひとりが読書活動を通じて社会貢献できる機会を創出することを目指してまいります。	①	①
43	「市立図書館における～」でくつろげる、交流する空間の設置があり、外国籍にも対応できる読書機会の確保もある。どの子も共にくつろぎながら読書を楽しめる空間は親御さんも安心できる。	子どもたちが安心して読書に親しめる「サードプレイス」としての図書館の機能強化は、本プランの重要な柱であり、今後も環境整備に努めてまいります。	①	①
44	「授業お役立ちブックリスト」は子どもにだけでなく、先生方の業務改善にもつながりそうである。	本プランでは、学校現場における読書教育の質を高めるため、教職員が活用しやすいリソースの提供や連携強化を図ってまいります。	①	①
45	「学ぶ」「やすらぐ」「楽しむ」という3つの方向性が示されていることに、深く共感する。図書館が、単なる情報提供の場ではなく、子どもたちの心の拠り所や、新しい発見ができる楽しい場所として機能するというミッションは、現代の子どもたちにとって非常に大切である。この多角的なミッションが、子どもたちの多様なニーズに応える力となると信じ、その推進を応援したい。	本が単なる知識習得だけでなく、心の安らぎや友人との交流のきっかけとなるという具体的なお話は、本プランが目指す読書活動の理想的な姿そのものです。また、ご意見のように、図書館が単なる情報提供の場に留まらず、子どもたちの心の拠り所となり、新しい発見ができる楽しい場所として機能するよう、本プランでは、現代の子どもたちにとって図書館が多様な役割を果たす重要な存在となるよう、サービスの充実と環境整備に努めてまいります。	①	①
46	家庭、学校、市立図書館、地域という、子どもを取り巻くすべての環境で読書活動を推進する具体的な施策が示されており、大変頼もしく感じる。 特に「電子図書館」の活用や「学校丸ごと図書館」の推進は、現代の子どもたちのライフスタイルに合った有効なアプローチだと思う。	子どもたちが多様な媒体で読書に親しめる環境を引き続き整備してまいります。	①	①
47	「子ども司書」の育成や「読書ボランティア」の支援といった、子どもたち自身や地域が主体となる取り組みは、読書文化を根付かせる上で非常に重要である。	「子ども司書」の育成や「読書ボランティア」の支援といった、子どもたち自身や地域が主体となる活動は、読書文化を地域に根付かせ、持続可能な読書環境を構築する上で不可欠であり、本プランにおいても重視し、支援を強化してまいります。	①	①
48	学校丸ごと図書館はとてもいい考えだと思う。学校の図書室は開放日が決まっているところもあり、このように普段から図書館や本と触れ合える機会が少ないので、図書館の中でとどまらず、ラウンジ(廊下)に学年文庫のような形で図書館の本を置くと良いと思う。	学校の読書環境を整備し、子どもたちが日常的に本に親しめる機会を創出する「学校まるごと図書館」の推進に努めてまいります。	②	④
49	もっと気軽に読書をするため「学校丸ごと図書館の推進(新規)」は、特に進めて欲しい。	学校図書館の利用機会を増やすことや、子どもたちがより気軽に本に親しむ環境づくりなど、各学校における具体的な運営方法やアクセス性の向上に引き続き取り組んでまいります。	②	④

50	学校図書館に政治系の本をもっと入れて欲しい。	幅広い分野の図書をバランスよくそろえるなど、蔵書構成の充実に努めてまいります。	③	④
51	1日のうちほとんど読書をしない児童・生徒が大変多いという状況を改善するため、たくさんの方が考えられていると思う。ジュニアサポーターさんたちの活動をもっと宣伝できたらよいと思う。	ジュニアサポーターの活動をさらに宣伝し、周知することに関するご提言、ありがとうございます。子どもたちが主体的に読書活動に関わる機会を増やすことは、本プランの重要な柱の一つです。広報戦略の強化や、活動の魅力発信に積極的に取り組んでいきます。	②	④
52	図書館にゆっくりとのんびり過ごせる場所、椅子などを設置することはすぐに出来るのでは、と思う。	図書館が子どもたちにとって、安心してのんびり過ごせる「サードプレイス」となることは、本プランが目指す重要な方向性です。ご意見を踏まえ、利用者のニーズに即した空間改善や、居心地の良い環境整備に努めてまいります。	②	④
53	各図書館で子ども向けの取り組みがされている。また新生児への本のプレゼントはとても良いことだと思う。	各図書館での子ども向け取り組みや、新生児への本のプレゼント事業をご評価いただき、ありがとうございます。乳幼児期からの読書習慣の形成を支援することは、本プランの重要な施策の一つであり、今後も継続して推進してまいります。	①	①
54	子ども向けの取り組みのほかに、保護者向けの、読書や図書館利用の促進をはかるイベントがあると、家庭から、読書の習慣が広がるのではないかと。	家庭における読書活動の推進は本プランの重要な柱であり、保護者の皆様が読書の重要性や楽しさを理解し、実践することで、家庭全体に読書の習慣が広がるものと認識しております。ご意見を踏まえ、保護者向けの多様なイベントの実施については、今後、検討してまいります。	②	③
55	子どもたちの読書を増やすには、いかに本を手に入れるか、いかに自分の興味のある本に巡り会えるかだと思うので、学校の様々な場所に本があるのはとてもよい取組だと思う。	各学校の状況を踏まえながら、学校内での読書機会の拡充や多様なジャンルの書籍の提供・紹介等に努めてまいります。	②	④
56	子どもの頃、母親が読み終わった本をその後自分も読むようなことをよくやっていた。親子で同じ本を読んで感想を語り合えるようなイベントが増えるのはとても良いと思う。	家庭での読書活動は、子どもたちの読書習慣形成において極めて重要であり、親子間のコミュニケーションを深める良い機会にもなります。検討委員会で家庭での読書を促進する情報発信について議論し、プランの内容を充実させるとともに、今後も親子で楽しめる読書イベントの企画・充実に努めてまいります。	②	②
57	イベントの告知に、InstagramやXなどのSNSの活用も検討してはどうか。	若い世代や子育て層への情報発信において、SNSの活用は非常に有効であると認識しており、現在、教育委員会のSNSを活用するなど効果的な広報戦略の強化に努めております。いただいた、InstagramやXなどのSNSの活用についても、今後検討してまいります。	③	③
58	図書館で子どもが選んだ本を親が否定する場面を見ることがある。その子が興味を持った本を自由に手に取ることに価値がある。親が良い本を読ませようと頑張り過ぎず、図書館や本に親しみを感ずるところから始められるよう、親世代の読書観を柔軟にする情報発信をお願いしたい。	子どもたちが自由に本を選び、読書を楽しむことは、主体的な読書活動へと繋がる大切な要素だと認識しております。ご意見を踏まえて、今後も、保護者の皆様へ向けた情報発信において、本のジャンルに拘わらず、子どもの興味・関心を尊重することの重要性や、子どもの発達段階、個性に応じた読書支援の啓発についてプランに反映させ、読書活動を温かく見守る環境づくりを支援してまいります。	②	②
59	学校以外で本に触れる事ができる場所や機会が少なくなってきた中で、地域の図書館や市民センターでの色々な催しはありがたい。今後の計画の実施に期待する。	子どもの読書機会確保に向けた多岐にわたる施策、特に学校以外の場所での地域図書館や市民センターでの催しについてご評価いただき、ありがとうございます。子どもたちが多様な場面で本に触れる機会を創出することは本プランの重要な目的であり、今後もこれらの活動を継続・強化してまいります。	①	①
60	小学5年生～中学生の間の読書時間の確保のため、10分間の朝読や掃除後10分間の読書タイムの徹底など、計画的な読書時間の確保を提案したい。	学校での計画的な読書時間の確保に継続的に取り組み、子どもたちが読書に親しむ環境づくりを続けてまいります。	②	④
61	はじめての絵本事業を通して、親子で絵本にふれる機会をつくるということは、家庭での読書支援だけでなく、親子の絆を深めるきっかけになる、というのが素晴らしいと思った。	乳幼児期からの読書体験は、子どもの成長にとって非常に重要であり、親子が共に絵本に親しむことで、豊かなコミュニケーションを育むことができますと認識しております。今後もこの事業を大切に推進してまいります。	①	①
62	北九州子供読書の日のイベントについて、図書館から案内が小学校からのPDFのみで、紙媒体での配布がなかったので、より多くの方への周知として紙での配布(小学校や幼稚園児)も検討してほしいです。またチラシが時系列がバラバラで分かりにくかった。	イベントの周知方法について、紙媒体での配布の検討や、チラシデザインの分かりやすさに関するご提案、ありがとうございます。より多くの方々にイベント情報を届けるため、広報の多様化と分かりやすい情報提供は重要であると認識しており、いただいたご意見は、今後の広報戦略やイベント告知の改善に向けて参考にさせていただきます。	③	④
63	電子図書館を効果的に活用すれば、子どもの自習の取り組みの一環としても、タブレットのより効果的な活用にもなると思う。	電子図書館が子どもの自習の一環として、またタブレットのより効果的な活用につながるというご意見、ありがとうございます。電子図書館は、子どもたちの学習支援において重要な役割を担っており、本プランにおいてもその活用を推進してまいります。デジタル技術と読書活動を融合させ、より効果的な学びの機会を提供できるよう努めてまいります。	①	①

64	主要施策の③学校丸ごと図書館の推進は、学校全体が図書館となるように、廊下に図書を配置するなど、学校のいたるところで本が手にできるような工夫ができると思う。	学校内で子どもたちが本を手にしやすい環境を作ったり、読み聞かせを通じて読書に親しんだりすることは、子どもたちの読書習慣形成に有効と考えており、今後もこれらの取組を推進してまいります。	②	①
65	子どもの読書活動を充実させるためにも学校とボランティア、家庭、地域、市立図書館等との連携は欠かせません。	本プランにおいても、学校、ボランティア、家庭、地域、市立図書館等の多岐にわたる機関・主体の連携推進基盤として重視しており、今後も関係機関や地域社会との連携強化を図り、読書活動の充実に取り組んでまいります。	②	①
66	公立図書館の廃棄本を、学校に提供して、学級文庫など学校内で自由に手に取れる本として活用できると良いと思う。	図書館の貴重な資料を有効活用し、子どもたちが学校内でより気軽に本に触れる機会を増やすという視点は、大変有益であると考えます。ご意見を参考に、廃棄本の活用促進に向け、廃棄本の状況や学校での活用ニーズ、配送・管理体制などについて、検討してまいります。	③	③
67	子どもたちが日常的に読んだ本の記録が書ける(残る)ような「読書記録カード」「読書記録ノート」「読書記録シート」があるといいです。また、「読書通帳」は、もっと記録できる場所を増やしてほしいです。	子どもたちが読書経験を可視化し、継続的な読書週間につなげることは非常に重要であると認識しております。現在、子ども図書館のホームページに、ダウンロードしてお使いいただける「読書通帳 reading passbook」を掲載しています。また、中央図書館のホームページには「Myライブラリ」という機能が有り、読んだ本の履歴を自分だけのブックリストとして記録できる「My本棚」が作成できます。ぜひご利用ください。現時点では、新たな「読書通帳機」の設置は、費用面で難しいと考えています。	③	③
68	読書コミュニティの形成が重要だと思う。例えば、学校の長期休みに、図書館の施設を活用して、じっくり本や図書館に親しみ楽しめるようなイベントを行うのも良いのではないかな。	読書を通じて仲間と交流し、学びを深める機会の創出は、子どもの読書意欲向上と豊かな人間性育成に大きく貢献すると考えます。図書館施設を活用した読書キャンプは、本にじっくり親しむだけでなく、探求学習や多様なメディアへの接触、関係者との交流を促す魅力的なご提案です。しかし、大規模な施設活用や多岐にわたる調整が必要となるため、現時点での実現は容易ではありません。貴重なご意見として今後の参考にさせていただきます。	②	④
69	図書館や電子図書館に、いろんなジャンルの子ども向けの本をたくさん置いてほしいです。(僕は生き物に興味があるので、生き物の本をたくさん読みたいです。)	子どもたちが幅広い知識に触れ、興味・関心を深めることができるよう、図書館として資料収集方針に基づき、様々な分野の図書や電子書籍の充実に努めてまいります。	②	④
70	家族や自分一人で、映画や音楽を楽しめるように、視聴覚資料(DVDやCD)をもっと増やしてほしいです本を読むきっかけにもなります。	視聴覚資料は、読書への興味の入り口となる重要な資料であると認識しております。図書館としては、収集方針に基づき、多様なジャンルの資料をバランスよく収集しております。スマホを持たない子どもたちにも、様々なメディアを通じて学びや楽しみを提供できるよう、引き続き資料の充実に努めてまいります。	③	④
71	地域と関係が深い方を講師にした子ども向けの講座やイベントをたくさんしてほしいです。	地域の歴史や文化、産業をテーマとしたイベントは、子どもたちが地域の魅力を知り、読書への興味を深める素晴らしい機会となると考えます。本プランにおいても、地域と連携した読書活動の推進を掲げており、いただいたご意見を参考に、具体的な企画内容や実施方法を検討しながら連携を進めてまいります。	②	④
72	「はじめての絵本事業」が1冊になっていると聞いています。やはり、以前のように2冊配ってあげてほしいです。	絵本の冊数については、限られた予算の中でより多くの子どもたちに届けるため、現状1冊としております。絵本リストを充実させ、2冊目からは保護者の方が図書館や電子図書館を利用してお子さんのために選んでいただきたいと考えております。今後も、事業の効果や予算状況を踏まえ、より良い事業運営に努めてまいります。	②	④
73	電子図書館のさらなる充実をお願いします。	本プランでも、電子図書館の利用促進を重要な施策の一つとして掲げており、子どもたちがいつでもどこでも読書に親しめる環境の整備に引き続き取り組んでまいります。	①	①
74	多様な子どもたちの状況に目を向け、どの子にとっても居心地のよい時間が本と共に過ごせるようになってほしいです。	多様な子供たちの状況に目を向け、居心地の良い読書環境の提供への期待、ありがとうございます。読書活動を通じてすべての子どもたちが自己肯定感を高め、健やかに成長できる社会の実現を目指し、引き続き一人ひとりの状況に寄り添った支援に努めてまいります。	①	①
75	はじめての絵本事業は、本にふれあうきっかけになると思うので、続けてたくさん子どもさんに届けて欲しい。小さな子どもの頃から本にふれていたら、第三の場所の候補として、図書館が思いつきやすく、足を運びやすいのではないかなと思う。	「はじめての絵本」事業への継続的なご期待と、大人が本を贈ることの重要性について、深く認識いたしました。また、幼少期からの読書経験が図書館を「第三の場所」として身近に感じ、利用促進に繋がるとのご指摘は、今後の読書環境づくりの上で大変参考になる視点です。ご意見を今後の施策展開や広報活動を検討する際の参考とさせていただきます。	②	④
76	こども図書館でのイベントに参加しました。こういったイベントをこれからもやっていただけると嬉しいです。	多様な催しを通じて子どもたちが読書や図書館に親しむきっかけとなるよう、今後も魅力的なイベントを継続的に企画・実施してまいります。	②	①

77	子ども読書の日イベントは参加型が多いので楽しいが、時間等かぶり、他のことに参加できないので残念。カフェも人が多いのでその日だけでも食事ができるところが増えたら良いと思う。	より多くの方々に参加していただくため、各イベントの開催時間帯については、参加団体との調整を図り、今後のイベント企画の際の参考にさせていただきます。また、長時間のイベント参加者や遠方からの来場者にとって、休憩や食事ができる環境は利便性向上に繋がる重要な要素であると認識しております。図書館内での飲食スペースや、近隣施設との連携など、様々な可能性を検討し具体的な企画や運営の充実にも努めてまいります。	②	④
78	まず本を楽しむものだと思えないとそれ以降は読まず嫌いになると思います。はじめての絵本事業で、絵本の配付、交流促進を実施されるようですが、どのような本を子どもが楽しいと思うのか、本の選定が大事だと思いますので、がんばってください。	本プランでは、子どもたちが読書の楽しさを知り、自ら本に手を伸ばすきっかけとなるような多様な取り組みを重視しております。また、乳幼児期からの本の配付や交流促進は、読書活動の重要な入口であり、子どもたちが読書に親しむきっかけとなるよう、引き続き質の高い絵本の選定や、その後の読書活動への繋げ方を工夫してまいります。	②	①
79	家読の推進では、忙しい親が多いと思うので、親への啓発が大事だと思います。親子で読書に親しむ機会の提供については、子どもは飽きっぽいので、どのように読み聞かせたら、飽きないのか工夫が必要だと思います。	家庭での読書活動は子どもの読書習慣形成に大きな影響を与えるため、保護者向けの啓発活動を強化し、家庭での読書の時間をサポートしていきます。また、読み聞かせは、子どもが本に親しむための大切な活動ですが、その方法には様々な工夫が考えられます。年齢や興味に合わせた本の選び方、声の出し方、飽きさせないための演出方法などについて、読み聞かせ講座等を通じて提供してまいります。	②	④
80	電子図書館を活用して、子どもたちがいつでもどこでも読書を楽しめる環境を整備するようですが、これからはスマホやタブレットの時代なので、このような取組みをより一層推進してください。	スマホやタブレットが普及した現代において、電子図書館は子どもたちがいつでもどこでも読書を楽しめる重要なツールです。本プランでもその充実と利用促進を主要な施策として掲げており、今後もその利便性を高め、読書機会の拡大に努めてまいります。	②	①
81	学校図書館の機能強化、「学校丸ごと図書館」の推進が掲げられていることに、とても期待しています。子どもたちが日常的に本に触れる機会を増やす上で素晴らしい取り組みだと思います。	学校内で子どもたちが本を手にしやすい環境を作ったり、読み聞かせを通じて読書に親しんだりすることは、子どもたちの読書習慣形成に有効と考えており、今後もこれらの取組を推進してまいります。	①	①
82	また、子ども司書・ジュニアサポーターの育成は、子どもたち自身が読書活動を企画・運営する貴重な機会であり、主体性を育むだけでなく、同年代の仲間への波及効果も大きいと感じます。この活動が、より多くの子どもたちに広がり、読書の楽しさを共有するコミュニティが生まれることを期待します。	子どもたちが主体的に読書活動に関わることで、読書への興味関心を深め、周囲にも良い影響を与えることを本プランでも目指しております。子ども司書・ジュニアサポーターの活動が、読書の楽しさを共有するコミュニティ形成につながるよう、今後もこの活動を積極的に支援し、より多くの子どもたちに広がるよう取り組んでまいります。	①	①
83	北九州市子ども読書の日のイベントの一つとして開催された英語の読み聞かせ会が今後もっと定期的に開催されるとよいのではないかと思います。	国際理解や多文化共生の推進の観点から、外国語による読み聞かせは大変有益であると認識しております。いただいた、英語を始めとする多言語での読み聞かせの実施回数や実施館の拡充に等については、今後、検討してまいります。	②	③
84	図書館が「心の拠り所」「やすらぎの場所」になるという考え方に共感します。子どもだけでなく大人も心地よく過ごせる空間になれば、家族全員で図書館に行くきっかけが増えると思います。	図書館が「心の拠り所」「やすらぎの場所」として、子どもから大人まで家族全員が心地よく過ごせる空間になることは、より地域に開かれ、多様な人々にとって魅力的な場所となるための重要な視点です。ご意見を参考に、引き続き、図書館の施設環境整備やサービス内容の充実について検討してまいります。	③	③
85	学校図書館の機能強化と「学校丸ごと図書館」の推進に期待しています。図書委員会の子どもたちが選書に参加したり、自分たちで読書コーナーをデザインする機会などを設けることで、より主体的に読書活動に関わる子どもを増やせるのではないかと期待します。	子どもたちが主体的に計画に参加し、自ら環境を創り出す経験は、読書への興味関心を深める上で有効と考えており、学校図書館の運営や「学校まるごと図書館」の推進に当たり、参考とさせていただきます。	②	④
86	この計画では、家庭や学校、図書館、地域との繋がりを重視して、こども達の本離れ、図書館離れを食い止めるための対策を進めていこうとする姿勢が強調されているように思います。あらゆる立場の人が同じ目標を持って進むのは難しいと思いますが、継続して、良い効果が生まれることを願います。	それぞれの機関が単独で活動するのではなく、一体となって連携することの重要性は、本プランでも強く認識しており、連携強化が不可欠であると考えております。あらゆる立場の関係者が共通の目標を持って協働することで、子どもたちの読書習慣形成に良い効果が生まれるよう、計画を着実に推進してまいります。	①	①
87	中学生の不読率を下げるために、「中学生が選ぶ図書コーナー」を図書館に設けることを提案します。若い世代の意見を反映した図書館づくりを進めていただきたいと思います。	中学生期は読書離れが顕著になる時期であるため、自発的に読書に親しむための工夫は大変重要だと認識しており、本プランでは、子どもたちの主体性を尊重し、子どもたちの声を積極的に施策に反映していくことを重視しております。いただいた、「中学生が選ぶ図書コーナー」の設置などについては、今後、検討してまいります。	②	③
88	中学生の不読率を減らすために、中学生の興味・関心に沿った本を図書館に充実させることを提案します。読書へのハードルを下げ、読書習慣の定着につながると考えます。	中学生期は読書から離れがちな時期であり、読書へのハードルを下げる工夫は非常に重要です。子どもたちが「読みたい」と感じる本を提供することが、読書習慣形成の第一歩であると考えます。常に最新の情報収集に努め、子どもたちの多様な興味に対応できるよう、ニーズに合致する資料の選書方針や、資料収集の優先順位を検討する上での参考とさせていただきます。	②	④

89	学校における読書活動の施策が、「学ぶ」「やすらぐ」「楽しむ」の各方向性に具体的にどう紐づいているか示されている点が非常に理解しやすかったです。これは、私たち教員が具体的な行動を考える上で役立ちます。	学校における読書活動の施策が、本プランで掲げる「学ぶ」「やすらぐ」「楽しむ」の各方向性に具体的に紐づいている点について、ご理解いただき、また教員の皆様の具体的な行動に役立つのご意見、ありがとうございます。今後も、学校現場の先生方が、このプランに基づき子どもたちの読書活動を推進しやすいよう、情報提供やサポートに努めてまいります。	①	①
90	「大人の読書離れ」が子どもたちにも影響を与えているという記述は、私たち大人も深く受け止めるべき課題だと感じました。子どもたちに読書の楽しさを伝えるためにも、まず私たち大人が率先して本を手取る姿を見せることが大切です。	ご指摘の通り、子どもの読書活動推進には、周囲の大人たちの読書への関心や行動が大きく影響すると認識しております。本プランにおいても、家庭での読書活動の推進や、保護者を含めた大人への読書啓発を重要な施策として掲げ、子どもたちの読書環境を豊かにするための取組みを進めてまいります。	①	①
91	「学校貸出図書セット」の充実や、市立図書館への見学実施を通じて、学校と図書館の連携が強化されたという成果は、子どもたちの学びを深める上で大変有意義な取り組みであったと評価します。	本プランにおいては、「学校貸出図書セット」の充実や市立図書館への見学実施等を通じて、学校と図書館の連携を強化し、子どもたちの読書機会を広げ、学びを支援していくことを重要な施策として位置づけております。今後も、こうした取り組みを継続・発展させてまいります。	①	①
92	文化施設との相互協力によるイベントが、子どもや保護者の興味を引いたという点は素晴らしい。異分野連携をさらに広げ、読書に直結しない活動からも本へ誘導するようなアイデアを今後も検討してほしい。	読書以外の活動を通じて、子どもたちが図書館や本に親しみきっかけを作ることは、本プランの重要な施策の一つです。また、子どもたちの多様な興味・関心を読書に繋げていくためには、幅広い分野との連携が有効であると認識しております。いただいた、読書への誘導に繋がる取組みについて、今後、検討してまいります。	②	③
93	「子ども電子図書館」の開設が、読書活動推進に大きな貢献をしてきたという記述は、私たちの実感と合致します。いつでもどこでも本にアクセスできる環境は、読書へのハードルを下げ、より多くの生徒が利用するきっかけになっています。	場所や時間を問わずに本にアクセスできる電子図書館は、子どもたちが読書へのハードルを下げ、利用を促進する上で大変有効です。本プランでも、そのさらなる充実と利用促進を掲げており、今後も子どもたちの読書機会の拡大に努めてまいります。	①	①
94	病院の待ち時間は読書に最適だと思う。小児科だけでなく産婦人科や歯科などにも子どもが本に触れられる環境が欲しい。漫画や図鑑、迷路、などその本なども読書の入口として有効で、ジャンルにこだわらず「読む楽しさ」を伝えることが大切。	動画視聴が日常化する中で、子どもたちの読書習慣形成と「読む楽しさ」の提供の重要性については認識しております。いただいた、医療機関での読書機会創出のご提案は素晴らしい視点ですが、医療機関への蔵書設置は、子ども図書館の主な活動範囲とは異なっておりますため、現時点では検討の対象外でございます。今後も、図書館内での資料充実や、地域連携による読書推進活動を通じて、子どもたちが多様な本に触れる機会の創出に努めてまいります。	③	③
95	子ども読書の日に学校と図書館で協力して実施するイベントを計画するなど、連携していただけたらより良いのではないかと。	本プランでは、学校と図書館が一体となって読書活動を推進することを重要な柱としております。年間を通じたイベントの企画や、情報共有の仕組みなどについて検討委員会にて具体的に議論し、プランの内容を充実させてまいります。	②	②
96	学校・家庭・地域・図書館がそれぞれ活動を行うことで、子どもたちが本に触れる機会を増やしていけると思われる。	本プランでは、学校、家庭、地域、図書館が連携し、それぞれの役割を明確にし、これらの機関が密接に連携することで、子どもたちの読書環境を包括的に支援してまいります。	①	①
97	子どもの読書を増やすためには、大人の読書の推進も必要であると思っっている。市民全体が読書する街になることを期待したい。	子どもたちの読書習慣形成には、周囲の大人が読書に親しみ、読書の楽しさを伝える姿を見ることが重要であると認識しております。本プランでも、保護者向けの情報提供や、大人を対象とした読書推進活動を盛り込んでいます。ご意見を踏まえて、今後も市民全体が読書に親しむ「読書の街」を目指し、大人への読書啓発に努めてまいります。	②	④
98	「③ 学校丸ごと図書館の推進」について、中学校国語科で本の紹介ポップを全生徒が作るということをよくしますが、本とセットで掲示するなど各学校の創意工夫溢れる取組が期待できそうです。	各学校における創意工夫や、子どもたちが読書に親しむ環境づくりへの主体的な活動が、学校全体での読書活動の推進につながると考えており、今後も各学校の取組を支援してまいります。	②	④
99	家庭によって読書量もですが、読書に関する意識が違っていると感じています。このプランが多くのお家庭に広がることで、多くの子どもたちが読書に触れる機会が増え、よいと思います。	本プランにおいても、家庭環境による読書機会の格差是正と、読書の重要性に関する啓発を重要な視点としております。すべての子どもたちが等しく読書に親しめる環境を整備することを目指しており、今後も広報活動を強化し、より多くの家庭や関係機関へ周知徹底を図ってまいります。	①	①
100	予備校に通っていなかったのですが、図書館を活用できず難しかったです。集中力が切れた場合は、本を借りて読むことができ、その点でもよかったです。私にとっては、素案に示された「学ぶ」「やすらぐ」「楽しむ」場所でした。	本プランの理念である「学ぶ」「やすらぐ」「楽しむ」を体現する場所として図書館をご評価いただき、ありがとうございます。この理念のもと、子どもたちが読書を通じて豊かな経験を積めるよう、また、図書館が提供する資料と空間が、利用者の皆様の多様な学びや生活の一助となるよう、今後も機能充実を努めてまいります。	①	①
101	図書館内にリラックスできる空間や交流スペースを設け、中高生が学校や家庭以外で安心して過ごせる居場所をつくることはとても良いと思いました。勉強する場所として、特に、高校生にとっては有意義な空間になると思いました。	中高生にとって、費用を気にせず利用できる有意義な学習・交流空間の提供は、本プランの重要な施策の一つです。今後も、子どもたちが多様な目的で利用できる魅力的な図書館づくりを進めてまいります。	①	①

102	「読書バリアフリー」の推進や、「多様なバックグラウンドを持つ子どもたちへの支援」に言及されていることに感銘を受けました。すべての子どもたちが、その特性や環境に関わらず、平等に読書の喜びを享受できる社会であってほしいと心から願っています。	「読書バリアフリーの推進」や「多様なバックグラウンドを持つ子どもたちへの支援」は本プランの重要な視点の一つです。特別な支援が必要な子どもたちを含め、一人ひとりの子どもたちがその特性や環境に関わらず、読書を通じて豊かな心を育めるよう、きめ細やかな支援に取り組んでまいります。	①	①
103	図書館が、地域の誰もが安心して利用できる「心の居場所」として、その役割をさらに発展させてくれることを期待しています。	本プランでは、図書館が単なる本の貸し出し施設に留まらず、地域住民の交流の場、学びの場、そして心の安らぎの場として、その役割を多角的に発展させていくことを目指しております。今後も、地域の皆様に愛される図書館づくりに努めてまいります。	①	①
104	「学校丸ごと図書館」や「子ども電子図書館」の活用推進は、現代の子どもたちの読書環境に即した素晴らしい取り組みだと感じました。	子どもたちが読書に触れ、学習を深める機会の提供に引き続き取り組んでまいります。	①	①
105	本を読んで深く考えたり、物語から何かを感じ取ったりする力を育むために、図書館や学校が、読書の「質」を高めるような仕掛けもぜひ検討してほしいです。	読書の質を高めることはもとより、子どもたちが主体的に本と向き合い、豊かな読書体験を得ることができるような仕掛けづくりに取り組んでまいります。	②	④
106	忙しい中高生でも、移動時間や短い休憩時間に活用できるオーディオブックや、興味のある分野のコラムなど、手軽に読書できるコンテンツをもっと増やしてほしいです。オンラインでの読書会なども、参加しやすいかもしれません。	現代の子どもたちの多様なライフスタイルに合わせ、読書へのハードルを下げる工夫は非常に重要であると認識しております。ご意見を踏まえて、今後もデジタルコンテンツの充実やオンラインを活用した読書活動の推進に努めてまいります。	②	④
107	市立図書館の電子図書の貸し借りの方法を「簡単にすること」「大々的に周知すること」をやれば、読書活動の推進につながるのではないかと思います。	電子図書館は、現代の子どもたちの読書活動を促進する上で非常に重要なツールであり、本プランにおいてもその利用促進を主要施策としております。利用方法の簡素化や広報の強化は、より多くの市民の方々に利用していただくために不可欠な視点であると認識しており、今後もその改善に努めてまいります。	②	①
108	「はじめての絵本事業」の実施は、乳児期からの読書への興味関心を育む上で大変有効だと思います。乳幼児期から絵本に親しんでいる子どもは小学校入学時の言葉への関心が高いように感じます。	乳児期からの絵本との出会いは、子どもの読書習慣形成の基盤となる重要な取組みであると認識しております。読書が子どもの言語能力や知的発達に良い影響を与えることは、多くの研究でも示されており、本プランにおいても、幼少期からの読書活動を積極的に支援してまいります。	①	①
109	保護者の読書に関する意識の高さ・低さの2極化が、結果的に学力の2極化、そして、上位学校への進学に大きく影響しているように思えます。この北九州市子ども読書プランの理念や取組が、読書に関心の低い家庭にもよい刺激になればと思います。	本プランでは、家庭環境による読書機会の格差是正と、保護者への読書啓発を重要な課題として認識し、家庭における読書の取組みに積極的に取り組めます。すべての子どもたちが等しく読書に親しめる環境を整備し、読書の意義や楽しさを広く伝えることで、読書活動を普遍的に推進してまいります。	①	①
110	図書館の蔵書として、常に魅力ある新刊を複数冊入れるための予算を確保する必要があると考えます。人気のある本は、かなりの待ちがあり、手に取って読める頃には新しい話題の本が出版されています。ぜひ、読書をする子どもたちや大人を増やすためにも、魅力ある図書館づくりを進めてください。	人気のある本の予約待ち状況や、新しい本が手に届く頃には話題が古くなっているというご指摘は、図書館資料の充実における重要な課題であると認識しております。限られた予算の中で、子どもたちの読書意欲を高め多様な興味に答えられる魅力的な資料を提供できるよう、選書基準や購入冊数など、今後の資料選定の検討材料とさせていただきます。	③	③
111	「面白い」「わくわくする」「ところが動いた」と感じる体験こそが読書の出発点だと思います。子どもが本を楽しめる、好きなこととして感じられるよう、自由に本を選び、気軽に読める環境を整えることが大切だと思います。	子どもたちが自由に本を選び、気軽に読めるよう、自らの興味・関心に基づいて多様な本と出会う機会を創出し、読書の楽しさを体験できるような環境づくりに積極的に取り組んでまいります。	①	①
112	くつろげる読書環境として図書館に静かで温かみのある空間や気軽に座って本を開ける雰囲気を作っていただきたいと思えます。	図書館が子どもたちにとって安心して過ごせる「心の拠り所」となるよう、施設整備や環境改善に努め、居心地の良い空間づくりを目指してまいります。	②	①
113	「読んで終わり」ではなく、感想文、発表、対話、調べ学習など、「本から考え、調べ、表現する」アウトプット型の読書活動も取り入れると学びに深く結びつくのではと思います。	読書後の主体的な活動は、学びをより深く定着させ、思考力や表現力を高める上で有効と考えています。今後も、学校現場における読書指導や、市立図書館でのワークショップ、イベント等の企画の充実に取り組んでまいります。	②	④
114	近年行っている子ども司書講座はよいと思う。夏休みに受講した生徒が受講したことを発表し、秋の北九州市子ども読書の日の取組に向けて、図書委員が興味をもって参考にした。	子どもたちが主体的に読書活動に関わり、その経験を学校の活動に活かしていくことは、読書推進において大変意義深いことです。本プランにおいても、子ども司書・ジュニアサポーターの育成を推進し、子どもたちが読書活動の担い手として活躍できる機会を創出していきます。	①	①
115	本プランから、「未来を見据えた学びの革新」に向け、市全体・学校・子どもたちがつながりながら進んでいく道筋が見えました。今後、リアルとデジタルの学びをバランスよく取り入れていく上で、図書館や本が果たす役割も大きいと思えます。	本プランでは、紙媒体・デジタル媒体双方の特性を活かし、子どもたちが本に触れ、言葉と学びを豊かにしていくための環境整備を推進していきます。子どもたちを取り巻く社会の変化に対応し、読書活動を通じて持続可能な学びを育むため、多様な主体との連携を強化してまいります。	①	①

116	子どもの読書活動を推進するための理想と現実のバランスをうまく取り、実効性の高い施策を打ち出そうとしていると感じました。特に、現代の子どもたちの生活様式や心の状態に寄り添い、読書の持つ本質的な価値を再発見するための工夫が凝らされていると思います。	実効性の高い施策とのご意見、ありがとうございます。子どもたちが読書を通じて豊かな心を育めるよう、子どもたちを取り巻く現状を深く理解し、一人ひとりのニーズに応じた支援に努めてまいります。	①	①
117	北九州市民が「やってみよう！」とActionを起こすためにも、読書が身近になって欲しいと願っています。その為にも読書プランの充実を臨みます。	読書が市民一人ひとりの行動力や創造性を高め、地域全体の活力向上に繋がるよう、本プランを通じて、読書がより身近で魅力的なものとなるよう努めてまいります。	②	①
118	この頃、携帯電話やパソコンに親しむ子が増えて、本(活字)を敬遠する子が増えたような気がしています。家庭や教室で、手に取れる本がすぐそばにあり、話し合う時間を確保する事ができたらいいと思いました。	デジタルメディアの利活用を進めつつも、活字媒体ならではの読書の深い喜びを子どもたちに伝える取り組みを重視してまいります。家庭や学校で本について語り合う機会の創出や、ブックトークの推進など、読書の質を高めるための啓発や環境整備にも努めてまいります。	②	④
119	まずは専任の学校司書を各校に配置することが第一だと考えます。いくらお金をかけて本を並べても人と本を繋げる人が不可欠です。	学校司書は、子どもたちと本を結びつけ、読書活動を活性化させる上で極めて重要な役割を担っています。学校司書・図書館事務員の専門性向上と連携強化を通じて、学校における読書活動の更なる充実を図ってまいります。	②	④
120	小学校において、図書室の整備や読書週間におけるイベントの実施などしています。担任の先生によっては、実費で最新の本を購入して教室に並べている方もいますが、学級文庫の整備の度合いは担任によって異なります。	学校図書室や学級文庫、学校での読書週間イベントは、子どもたちが日常的に本に触れる大切な機会であり、整備状況の均一化は重要な課題であると認識しております。学校全体での図書環境の整備に引き続き取り組んでまいります。	②	①
121	図書室の古くなった本が、学級文庫用に下ろされてきますが、子どもたちが手に取りたくなる状態のものではありません。学年文庫を設けようと思っても、場所の確保や安全面から難しく、書棚も古くて使いにくいものが多いです。	学校図書館の資料更新計画や学級文庫の整備充実に取り組んでまいります。	②	④
122	タブレットが配布され、子どもたちは空き時間にタイピングやドリルなどをできるようになってきました。読書活動が推進されることを願っています。	隙間時間に手軽に読書ができるよう、電子書籍の充実など、子どもたちの読書意欲を育むための取組を推進してまいります。	②	①
123	中学生から「読書はしたいが忙しくて時間がない」や、「自分の読みたい本が分からない」という声がある中、電子図書館サービスや様々な催しの充実は、本を手取るきっかけづくりとして素晴らしいと思います。	中学生の時期の読書活動推進は重要な課題ですが、勉強や部活動で忙しい時期でもあると認識しております。引き続き、電子図書館や中高生向けのイベントを通して、生徒が本に触れやすくなる工夫を重ねてまいります。	①	①
124	読書カードの表彰状・副賞の復活は、子どもと本を近づけるための取り組みとしてあるとありがたい。	子どもたちの読書意欲向上策として、貴重なご意見をありがとうございます。今後の読書奨励事業の参考とさせていただきます。引き続き読書活動の充実に向けて努めてまいります。	②	④
125	市図書館本の返却ポストを学校の近くに設置してほしい。	図書館が遠い、返却に手間がかかるという点は、図書館利用のハードルの一つであると認識しております。子どもたちが気軽に本を借り、返却できる環境を整備することは、読書習慣の定着に繋がると考えます。時間や場所を選ばず本が借りられ、期限が来れば自動で返却される電子図書館の充実など、図書館利用の利便性向上について引き続き検討してまいります。	②	③
126	読書の日の全市でのイベント開催や、子どもたちが自信をもって表現し、様々な世代間の交流を深める機会となった『ビブリオバトル発表会』など、主体的に読書活動に関わる子どもの育成の機会の一つとしても価値ある取組ではないかと思えます。今後も様々な工夫を凝らしたイベントを期待しています。	読書イベントは、子どもたちが本と出会い、読書の楽しさを体験する重要な機会であると考えます。特にビブリオバトルは、子どもたちが主体的に読書活動に関わり、発表を通じて表現力やコミュニケーション能力を高める上で大変有効であると認識しており、今後もこのような体験の機会を創出していきたいと考えております。子どもたちが読書に親しめるよう、ニーズや時代に合わせた魅力的なイベントの企画・実施に努めてまいります。	②	①
127	既存の図書館以外の場所で本に触れる機会が増えたり、漫画や電子書籍等、読書の選択肢が増えると良いと思います。	図書館に限らず、子どもにとって身近な場所で、もっと気軽に、そして多様な形で本に触れられる環境を整備することは、本プランの重要な施策であり、今後も積極的に推進してまいります。	②	①
128	移動図書館の巡回や、借りた本の関連書籍を紹介する『あなたへのおすすめ』の発行など、次の読書につなげる体験をするのもおもしろいと思います。	移動図書館の巡回や、その人だけの「おすすめ本」の情報提供など、次の読書へつなげるご提案、ありがとうございます。ご意見を参考に、読書への動機づけとなる施策の推進に努めてまいります。	②	④
129	もっと外部への情報発信を行い、図書館の認知度を高めていった方が良いのかなと思います。本の魅力や、読書活動の有用性がどんどん広まっていくような取り組みをよろしく願います。	ウェブサイトの情報だけでなく、より多くの家庭、特に図書館から離れた地域にお住まいの方々にも、図書館の魅力やイベント情報を効果的に届けることは重要だと考えております。アクセス面での課題についても貴重なご意見として承ります。広報戦略の見直しや、地域へのアウトリーチ活動の強化などを検討し、情報発信に努めてまいります。	②	③

130	電子書籍の利便性向上や、市立図書館と学校図書館の連携による貸出・返却の改善により、利用者数が増加すると思われる。また、学校図書館では平日、図書館職員が常駐し、家族にも本の貸出・返却ができる読書の機会が増えると思われる。さらに地域の公民館や市民センターに図書館司書が常駐し、本の貸出・返却など管理する、もしくは、「ひまわり文庫」に出張してもらい対応にあたるというのではないかと考える。	子どもたちがより身近な場所で本に触れる機会を増やすための具体的なご提案、ありがとうございます。ご意見を参考に、学校図書館や地域との連携を通じた読書機会の創出と利用促進に努めてまいります。	②	④
131	「北九州市子ども読書の日」のイベント回数や規模の拡大を行う。毎月23日を含む週を「子ども読書週間」とし、学校や市立図書館において、読書冊数競争、団体貸出、ビブリオバトル、ブックトーク、読み聞かせなどのイベントを実施する。また、ボランティア育成・支援のための講習会を開催し、ボランティア活動を一層強める働きかけを行うことで、図書館により多くの方が集まるきっかけになると考える。	読書イベントの回数・規模拡大と、具体的な内容に関するご提案、ありがとうございます。また、ビブリオバトルやストーリーテリングなど、様々な手法を活用したイベントは、子どもたちの興味を引き、読書への関心を深める上で大変有効であると認識しています。さらに、活動を支えるボランティアの育成・支援は、読書活動推進の重要な柱です。ご意見を参考に、子どもたちの読書意欲を高める多様な読書体験の提供、ボランティアの育成支援に努めてまいります。	②	④
132	学校図書館職員は、各学校に1名の常駐(司書教諭の資格取得者に限る)と学校司書1名、図書館職員1名他地域のボランティア活動団体の構造に変更するとより効果的な読書活動の推進に当たることができるかと考える。	学校図書館職員は、学校における読書活動推進の核となる存在であり、今後も子どもの読書活動の推進に向けた環境整備に努めてまいります。	②	④
133	「学校貸出図書セット」は管理の難しさから利用を懸念する考えがあるため、図書館ナノなどのアプリが各学校で子どもたちが利用している端末とつながり、学校図書館や市立図書館と連携し、貸出状況の確認や貸出予約ができるようになると利便性はかなりよくなるかと考える。	現状の学校貸出図書セットの管理に関する課題、および紛失・破損への懸念について貴重なご指摘をいただきました。ICTを活用した連携強化は、利便性の向上だけでなく、学校図書館職員の業務負担軽減にも繋がる大変有効な視点であると認識しております。いただいたご意見を参考に、学校貸出図書セットの運用改善に努めてまいります。	②	④
134	子どもたちの読書の機会を増やすため、朝読や、学校図書館から各クラスへの貸出BOXの配架などを行うことで、貸出・返却のルールを身に付けたり、学校図書館への利用率もあがるかと考える。また「学校まるごと図書館」の観点から、学校内の廊下や階段スペースなどに、学校図書館で廃棄となった本を使い学年文庫を設置し、調べ学習などに活用できるようにすると、本が学習に役立つことを知るきっかけになるし、本の再利用にもつながると考える。	子どもたちの読書機会を増やすことは、子どもたちが日常的に本に触れる機会を増やし、読書習慣を形成し、学習への興味を促す上で非常に有効と考えます。今後も、学校における子どもの読書活動を推進してまいります。	②	④
135	読書の「バリアフリー」化の推進について、読み聞かせの際に本の画像をPDF化して、TV等で視覚化すると小さな絵本でも見やすくなり、本の内容に集中できると考える。	ICTを活用したバリアフリー化の視点は、本プランにおける『多様な子どもへの読書支援』を具体化する上で非常に重要であり、ご意見は、今後のイベント企画や学校における読み聞かせ活動の参考にさせていただきます。	②	④
136	電子図書館の利用に際して、学校図書館職員など学校の教職員も利用方法を熟知し、子どもの指導に当たることが急務であると考え。また「Googlechrome」などを活用し、子どもたちの利用について学校で指導ができると利便性が上がると考える。	子どもたちが電子図書館を円滑に活用するためには、教職員が利用方法を熟知し、適切な指導を行うことが不可欠であると認識しております。また、教職員が利用状況を管理・指導しやすいツールの活用に関するご提案も参考にいたします。ご意見を参考に、今後も、電子図書館の利用促進に努めてまいります。	②	④
137	読み聞かせの方法(テクニック)を学ぶことや、学校での読み聞かせにおける学習時期に沿った読み聞かせを行うことで、効果的な読書活動となると思われる。ボランティア育成・支援にて、イベントの催しが行える程度の段階まで支援いただけたらと読み聞かせ会の準備がスムーズに運ぶかと考える。また、受講した団体を市や市立図書館のホームページで紹介し、学校のイベントにおいて活動をお願いできるようになると、読書ボランティア活動の一層の推進になると考える。	読み聞かせの技術向上やテーマ設定の工夫は、子どもたちの心情に働きかけ、集中して話を聞く姿勢を育む上で大変有効であると認識しております。また、ビブリオバトルやブックトークなど多様な読み聞かせ手法に関する講習会の要望も、ボランティア活動の質向上に繋がるものです。ご意見を参考に、今後も、読書ボランティアの育成支援の取組みの充実にも努めてまいります。	②	④
138	「子ども司書養成講座」を終了した子どもたちには、学校図書館業務のサポート活動において、学校図書館が利用しやすく楽しい環境になるようなアイデアを出してもらい、活躍の場を提供するようにする。ジュニアサポーターとして図書委員会以外のボランティアチームができると楽しい学校図書館になると考える。	子どもたちが図書館運営や活動に主体的に関わることで、学校図書館がより魅力的で楽しい場所となり、読書への関心を深めることは大変有益であり、引き続き学校図書館の活性化に努めてまいります。	②	④
139	地域の読み聞かせボランティアの活動の周知をにより、開催日に利用者が増えるかと考える。また、公民館などで読み聞かせがあると近隣の子供たちが集まりやすくなるのではないかと考える。	ボランティア活動の積極的な広報は、開催日の利用者増加に繋がっており、地域の子供たちが読書に親しむ機会を増やす上で大変有効であると認識しております。ご意見は、地域における読書活動の広報戦略や、公民館等と連携したイベント企画の検討において、今後の取組みの貴重な参考とさせていただきます。	②	④
140	イベントの開催を増やし、学校の図書イベントと連携・協力することで、読書力の身に付け方を考えていくことになると考える。	学校と公共図書館が連携し、一体となってイベントを実施することは、子どもたちの読書機会を増やし、読書力を効果的に身に付ける上で大変有効であると認識しております。ご意見は、イベント企画の際の連携強化や、読書力の身に付け方を考慮した内容検討において、今後の取組みの参考とさせていただきます。	②	④
141	本を読む機会をたくさん作り、感想文などにするとより効果的に国語力が身に付くのではないかと考える。文章力の向上について学習できる場所が、図書館にあると感じることが大事である。本を読まない子に対し、個々にあった本がみつかるのも図書館であることを指導することも必要であるかと考える。	学校や図書館における読書指導、読書感想文指導、個別相談支援、教職員・図書館職員の研修内容の充実などに取り組んでまいります。	②	④

142	「子ども司書養成講座」を終了した子どもには積極的に図書館の環境整備に関わってもらい、本の楽しさや本から学んだことなどを発信する活動を学校が支援していくとよいのではないかと。また、中学校の現状から考えると、貸出BOXや学年文庫の活用が必要であると考えます。さらにリクエスト本が届いたお知らせなどでこまめな関わりを持ち、図書館に足を運んでもらうことが大切である。他には、電子書籍の利用や市立図書館と学校図書館の連携について知ってもらうため、図書館だよりを発行してはどうか。	ご提案は、子どもたちの主体的な読書活動への参加促進、読書の意義の啓発、中学生の読書機会の確保、そして広報活動の強化といった観点から、いずれも具体的な実践につながる貴重なご意見であると認識しております。ご意見を参考に、今後も人材育成、学校における読書活動の推進、広報戦略、および市立図書館と学校図書館の連携強化に努めてまいります。	②	④
143	現在、市立図書館で行っている読書ボランティアによる「おはなし会」を市民センターや地域の公民館にて行うことで場所も増え、回数も増えることにつながると思われる。	地域に密着した施設で「おはなし会」を実施することは、より多くの子どもたちが気軽に読書活動に触れる機会を創出し、地域全体の読書推進に繋がると認識しております。本プランでも、特に乳幼児期の読み聞かせやおはなし会への参加を重要と考えており、地域と連携した読み聞かせ活動を進めてまいります。	②	②
144	現在いくつかの学校で取り組んでいる「ビブリオバトル」は公式のものとはかけ離れており、「北九州市の子ども読書プラン」の中に取り入れる場合は、名称を変える、もしくは、公式ルールに沿った指導の下、促進されることが望ましいと考えます。	ビブリオバトルは、子どもの主体的な読書活動を促し、表現力を高める上で有効な取組であり、ご意見にあるような公式ルールとの整合性や名称変更など考慮しながら、普及促進に努めてまいります。	②	④
145	読書環境の充実について 素案の『学校丸ごと図書館の推進』の中に各教室や廊下、空きスペースに読書コーナーを設け、気軽に読書ができる場を提供とありますが、これを実践するには、蔵書管理の観点から十分な準備とそれに伴う人の手がかかることを踏まえて、取り組む必要があります。	図書館資料の適切な管理や読書環境の整備など、子どもたちが読書に親しみやすい学校図書館づくりに引き続き取り組んでまいります。	②	④
146	現在、市内の中学校校区に学校図書館職員が63人配置され、ひとりが3～4校の小学校・中学校・特別支援学校を兼任しており、一校に係わる時間は十分ではありません。子ども達が本を身近に感じ、手軽に読書できる環境をつくるには、そこに「いつも人がいる」に限ると思います。この事業を着実に進めていくには、現状の人員体制では十分とは言えず、採用人数を増やすことが必要であると考えます。	学校図書館職員は、子どもたちと本を結びつけ、読書活動を推進する上で重要な役割をはたしていることから、引き続き、学校図書館の運営体制の強化に努めてまいります。	②	④
147	マンガや歴史の本、偉人伝の本を置いてほしいです。また、人気のアニメやマンガのノベライズが読みたいです。	読書に親しむためには、まず興味のある本と出会うことが重要です。図書館としては、幅広い分野の資料を収集する方針であり、令和7年7月から、子ども図書館にまんがコーナーを設置しております。いただいた具体的なジャンルについても、子どもたちの読書意欲を高める資料として、今後の選書の参考にさせていただきます。	③	④
148	読書離れが進む前の小学校低学年から司書体験を楽しめるようにしてほしいです。	幼い頃から図書館の仕事に触れる体験は、本や図書館を身近に感じ、読書への興味を育む上で大変有効であると考えます。市立図書館における体験学習プログラムの充実を検討してまいります。	②	③
149	学校で習った本の作者の別の本を置いているコーナーが欲しいです。	学習内容と関連づけることで、より興味を持って読書に取り組めるという視点は大変重要であると考えます。いただいたご意見を踏まえて、今後の資料収集や展示企画の参考とし、子どもたちの知的好奇心を刺激する環境づくりに努めてまいります。	③	④
150	大人向け(中高生も)の朗読会を実施してほしいです。	朗読会のような多様な形式で物語に触れる機会は、読書の新たな魅力を発見し、幅広い世代が読書活動に親しみきっかけとなると考えます。ご意見を参考に、中高生や大人も楽しめるイベントの企画を検討してまいります。	②	③
151	映画・ドラマ化された本や、話題の注目されている作家さんの本を増やせば中高生がきやすくなると思います。	中高生が読書に親しむためには、彼らの興味・関心に合った資料を提供することが大変重要であると認識しております。いただいた具体的な作家名やジャンルについては、今後の選書や企画展示の参考にさせていただきます。	③	④
152	図書館でのイベントについて、学校に手紙を配布すれば中高生も知れると思います。	図書館イベントの周知についてのご提案、ありがとうございます。今後も中高生を含むより多くの方々に情報をお届けするため、学校との連携を強化し、様々な媒体を活用した広報活動に努めてまいります。	③	④
153	中高生は本を借りるより、勉強しに行く人が多いので学習スペースを増やしたり、多少話しても良い学習スペースがあると行きやすいです。	中高生にとって図書館が学習の場として重要であることは認識しており、集中して学習できる環境だけでなく、グループワークや情報交換ができる柔軟なスペースの必要性も高まっています。今後の図書館施設整備やスペース運用において、具体的な施策としてプランに反映して検討してまいります。	②	②
154	読書に抵抗を持っている人でも気軽に読みやすい本を置いている事はありがたいことだと思います。	子どもたちが読書の楽しさを知り、本に親しむためには、入口となる多様なジャンルの本を提供することが重要であると認識しております。本プランでも、子どもたちの興味・関心を引く資料の充実と努め、より多くの子どもたちが読書の楽しさを体験できるような環境づくりを進めてまいります。	②	①

155	読書の「バリアフリー」化の推進の項でバリアフリー図書の増加について説明されていますが、令和5年度に子ども図書館の大研修室にて開催されたバリアフリー図書読書体験会(福岡県立図書館主催)の開催についても記載されてはいかがでしょうか？	令和5年度のバリアフリー図書読書体験会は、県立図書館主催(会：子ども図書館)であったため、記載は控えていただきます。	④	⑤
156	私は今高校生ですが、「本」に関するボランティアの案内がないので、高校生が参加しやすいボランティアなどを増やしてほしいです。	高校生の皆さんが読書活動の担い手として参加し、自身の関心に沿った活動を通じて読書への喜びを深めることは、若者の読書離れを食い止めるだけでなく、主体的な活動の育成にも繋がると考えます。ご意見を踏まえ、市立図書館等におけるボランティア活動のメニューを拡充し、高校生が参加しやすい読書関連ボランティア機会の創出について、検討してまいります。	②	③
157	学校との連携はよいことではないか。	子どもたちの読書活動推進には、学校が果たす役割が大変大きいと認識しており、今後も学校との連携を強化し、読書環境の充実に取り組んでまいります。	①	①
158	北九州市の子ども図書館も行ってみたい気持ちが芽生えたと、お子さんや保護者に本への興味・関心へとつながると、感じています。お子さんが行きたいと思う魅力ある素敵な図書館があるよう願っています。	図書館が子どもたちにとって快適で魅力的な空間であることの重要性を再認識させられるご意見、ありがとうございます。今後、北九州市の図書館施設整備やサービス改善を検討する上で、これらの先進事例も参考にさせていただきます。子ども図書館が、お子さんや保護者の本への興味・関心に繋がり、読書を通じて学びや成長を促進する魅力的な場所であることができるよう、本プランにおいても、引き続き取り組みを進めてまいります。	①	①
159	小倉南図書館にも読書通帳の機械を置いて頂けると嬉しいです。	子どもたちが読書経験を可視化し、継続的な読書週間につなげることは非常に重要であると認識しております。現在、子ども図書館のホームページに、ダウンロードしてお使いいただける「読書通帳 reading passbook」を掲載しています。また、中央図書館のホームページには「Myライブラリ」という機能が有り、読んだ本の履歴を自分だけのブックリストとして記録できる「My本棚」が作成できます。ぜひご利用ください。現時点では、新たな「読書通帳機」の設置は、費用面で難しいと考えています。	③	③
160	マンガでもいいから図書館に置いてみる。	子どもたちが読書に親しむためには、まず興味のある本と出合うことが重要であると認識しております。子ども図書館では、令和7年7月から「まんがコーナー」を設置しており、ぜひご利用いただきたいと思います。本プランでも、子どもたちの多様なニーズに応えられるよう、様々なジャンルの資料収集に努めてまいります。	②	①
161	ワイワイガヤガヤできる場所の創設(岐阜の図書館を参考)	図書館が静かに読書をする場だけでなく、交流や活動ができる多様な空間を提供することは、図書館をより身近な存在にする上で重要であると認識しております。ご意見を参考に、利用者ニーズや施設特性を考慮しながら、図書館空間の新たな活用方法について検討してまいります。	③	③
162	絵本と絵本に出てくるキャラクターのぬいぐるみを置いて遊べるようにする	幼い子どもたちが絵本の世界観に没入し、より楽しく本に親しむきっかけとなる工夫は、読書への興味を育む上で大変有効であると考えます。ご意見を参考に、子どもの創造性や表現力を育むための展示方法や空間演出に努めてまいります。	③	④
163	自分で本を作ってみる	自分で本を作るという体験は、子どもたちが本を読み手としてだけでなく、作り手として関わることで、本の構成や表現について深く理解し、より主体的な読書体験に繋がると考えます。ワークショップやイベント企画において検討してまいります。	③	③
164	絵本や本の世界を体験ツアー(本の内容によりですが、パンを作る、星空を見る、だんご虫を集める、など)	本の内容に関連した体験活動により、読書と実体験を組み合わせることは、子どもの五感を刺激し、学びを深める上で大変有効であると考えます。今後の体験型イベントにおいて、ご意見を参考にした企画等を検討してまいります。	③	③
165	10月26日の、読書の日の各区・市立図書館のイベントは、趣向が凝らされていて、参加したくなるような企画ばかりでした。	子どもたちが読書に親しむきっかけとなるよう、今後も魅力的なイベントを企画してまいります。	①	①
166	改めて、「読書」だけではなく、「訪ねて来やすい居場所作り」をしていかなければ、と考えさせられました。	子どもたちが自ら足を運び、知的好奇心を満たすことができ、居心地よく、魅力的な学校図書館となるように、引き続き取り組んでまいります。	②	③
167	ジャンルを問わない読書を、私自身がしていく事、その事で、学校の児童にも、そして、家族にもその楽しさが伝わっていくのでは、と考えます。	大人の読書活動が子どもたちに与える良い影響は計り知れません。本プランでも、大人の読書啓発や、家庭での読書活動支援を通じて、読書の楽しさが広がるよう努めてまいります。	①	①
168	(学校丸ごと図書館の推進について)子どもが子どものために選定した本を身近に置くという環境づくりは、読書に親しむ環境づくりの一歩になると思います。	子どもたちが自ら足を運び、知的好奇心を満たすことができ、居心地よく、魅力的な学校図書館となるように、引き続き取り組んでまいります。	①	①

169	図書委員会を中心に図書館司書とも連携しながら、図書室だけでなく学級でも本が身近にある環境づくりに努めていきたいと思っています。	各学校の創意工夫に富んだ実践は、子どもたちの読書意欲を高める上で不可欠であることから、好事例を他校にも情報提供するなど、本市全体の学校図書館を更なる魅力化につなげてまいります。	①	①
170	「はじめての絵本事業」の対象拡大 現在は新生児家庭が中心だが、転入児や保育園未就園児にも配布・紹介の機会を設けると効果的ではないか。	転入児には別途絵本パックの配付についてご案内しています。保育園未就園児には、初めての絵本事業で配付した絵本をご利用いただくとともに、絵本パックに同封している「絵本リスト」をもとに、図書館や電子図書館をご利用いただきたいと思います。	②	④
171	電子図書館の家庭での利用率が低い、保護者向け説明会やスマホ操作ガイド動画を提供し、電子図書館を使いやすくしてほしい。	家庭での電子図書館利用率向上は重要な課題ですが、利用方法がわかりにくいというより、電子書籍の蔵書数や画面上で本が探しにくいことなどが障壁になっていると認識しております。ご意見を踏まえて、電子書籍の充実や、画面構成の工夫など、使いやすい電子図書館づくりに努めてまいります。	②	④
172	「家読カード」などを学校と連携して活用し、家庭読書の実践例を市のホームページで紹介してほしい。	家庭での読書活動を可視化し、共有することで、他の家庭への良い刺激となり、家読の習慣化に繋がるものと期待されます。ご意見を参考に、学校との連携強化や広報活動において、検討してまいります。	②	③
173	ひとり親家庭や多子家庭に対する読書会への参加費補助や移動図書館の巡回頻度増加など、家庭環境に左右されない読書機会を保障してほしい。	家庭環境に左右されずに全ての子どもたちが読書機会を享受できるように支援することは、本プランの重要な目的の一つです。ご意見を踏まえて、経済的・地理的な理由による読書格差を是正するため、市民センターや学童保育クラブ等の児童関連施設での読書活動が活発になるよう、地域との連携を深めてまいります。	②	④
174	「学校丸ごと図書館」の実現支援 実践校をモデルとして映像・マニュアル化し、他校への展開を進めてほしい。	各学校の創意工夫に富んだ実践は、子どもたちの読書意欲を高める上で不可欠であることから、好事例を他校にも情報提供するなど、本市全体の学校図書館を更なる魅力化につなげてまいります。	②	④
175	授業と連動した読書指導の強化「授業お役立ちブックリスト」の利用状況を把握し、教員研修での共有や事例集の発行を提案する。	読書指導の質を高めるため、教員研修や指導資料の充実に努めてまいります。	②	④
176	中学生の読書離れ対策として、昼休み・放課後に短時間で楽しめる読書紹介(ビブリオ5分トークなど)を授業と連携して実施してほしい。	中学生が読書に親しみを感じられるよう、いただいたご意見は今後の読書推進活動の参考とさせていただきます。	②	④
177	子どもたちがSNSから意識的に距離を置き、AIの発展時代において、自身で情報を見極め、判断する力を養うため、読書が有効な手段であると考えています。	SNSの普及が子どもの受動的な情報消費姿勢につながり、情報判断力の低下を招くというご懸念は、本プランが現代社会における読書の重要性を再認識する上で貴重なご意見です。ご意見を踏まえ、子どもたちがデジタル社会において主体的に情報を選択し、活用する力を養うための読書推進策の充実に努めてまいります。	①	④
178	人との関係や生きづらさを感じた時に、本が「居場所」になり得ることを子どもたちに知ってほしいと強く願っています。そのためきっかけづくりとして、○図書カードの配布、○人気の本などのサンプル・概要の配布、○自分なりの本棚を作成する授業やワークショップの開催などを提案します。	本が「自分自身とつながる場所」となり、「心の居場所」となり得るというご意見は、本プランが目指す読書活動の意義と深く合致するものです。図書カードの配布、人気の本などの概要配布、自分なりの本棚(My本棚)の作成といった具体的なご提案を踏まえ、子どもたちが本と自己を繋ぎ、自分自身を深く理解する機会の充実に努めてまいります。	②	④
179	読書が「自分自身の意思決定」や「情報を見極める判断力」を育む上で不可欠なツールであることを、プランを通じて子どもたちに伝えてほしいです。また、読書がデジタル社会を生き抜くための「情報判断力」や「自己理解」を育むツールであると再認識させるため、多様で具体的な「きっかけ」を提供することを望みます。特に、本が子どもたちの「心の居場所」となり、「自分自身とつながる」ための手段であるというメッセージをプランに込めてほしいです。	情報過多のデジタル社会において、読書が「自分自身の意思決定」や「情報を見極める判断力」を育む上で不可欠なツールであると認識しております。ご意見を踏まえ、読書の価値を再認識し、子どもたちが主体的に生き抜く力を養うための多様なきっかけづくりと支援の充実に努めてまいります。	②	④
その他、図書館にかかわるもの				
180	仕事から帰った家族と一緒に本を借りに行けるように、開館時間をもう少し長くしてほしいです。	図書館の開館時間については、市民アンケートで「利用しづらさを感じない」というご意見が多く(約85%)、現時点では延長を予定しておりませんが、今後も、アンケート実施等で市民の要望の把握に努めてまいります。	②	③
181	小倉南図書館の駐車場の混雑が解消されると助かります。何らかの形で駐車場の増設や臨時スペースがあると、もっと利用しやすくなると思っています。	基本的には図書館専用の駐車場をご利用いただきたいと思います。土・日・祝日の区役所閉庁日には駐車場を一般開放していますので、どなたでもご利用いただけます。ご意見については、今後の参考とさせていただきます。	③	⑤
その他、本計画には直接かかわらないもの				

182	乳幼児、小学生も北九州市立大学の図書館を利用できるようにしてほしい。	<p>北九州市立大学に確認したところ、大学の図書館は、主に学生・教員の教育・研究のために利用されるため、公共図書館のような一般書の所蔵は少なく、学術書中心の蔵書構成となっており、学術に関わる調査・研究を目的として所蔵の図書を利用される場合に、学生・教員の利用に支障のない範囲で、高校生以上の市民（北九州市に通学・通勤されている方を含む）を対象として、図書館の利用を開放しているとのことでした。</p> <p>今回いただいたご要望にお応えできず恐縮ですが、何卒ご理解くださいますようお願いいたします。</p> <p>なお、近隣の北九州市立の小倉南図書館（小倉南区若園4丁目1-60）は、お子様の利用も可能ですので、ぜひご利用いただけますと幸いです。</p>	②	⑤
-----	------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---	---

市民意見を踏まえた修正

寄せられたご意見すべてを真摯に受け止め、丁寧に検討を行った。その中で、素案に修正として取り入れた意見は、主に以下の3つの観点から判断した。

- ① 計画の信頼性、透明性、正確性を高めるために不可欠な修正
- ② 本プランの理念や目的と合致し、かつ実効性を高める上で優先的に反映すべき修正
- ③ 市民ニーズが高く、即座に具体的なアクションに繋がる修正

この判断基準に基づき、寄せられた182件の意見のうち、最終的に7件について、内容を素案に反映し、下記のとおり変更・修正を行った。

「具体的な内容」について

【修正点1】

市民意見 No.15 は、「引用文献の明確化」についての意見であり、計画の信頼性と透明性を高める上で極めて重要なご指摘である。

事務局としては、計画の基盤となる文献の正確な記述が、その計画自体の信頼性に関わる部分であると認識しており、正当性を確保する上で不可欠であると判断した。

そのため、素案P.15の5子どもの読書を取り巻く環境の変化、2令和の日本型学校教育についての、「令和の日本型学校教育」に関する記述を、『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～(答申)」に修正する。

【修正点2】

市民意見 No.40 は、「デジタルとアナログのバランス啓発」についての意見であり、デジタル化が進む現代において、利便性だけでなく紙媒体が持つ独特の温かさや五感で味わう魅力も重要であり、両者のバランスの取れた啓発が必要であるという、本質的なご指摘である。

この観点から、このご意見は、子どもたちが多様な読書習慣を育むための明確な指針を示す上で重要であると判断した。

そのため、素案P.15の5子どもの読書を取り巻く環境の変化、2令和の日本型学校教育について【GIGA スクール構想】に

「その際、デジタルならではの利便性と共に、紙媒体が持つ「温かさ」や五感で味わう読書の魅力をバランスよく伝え、アナログとデジタルの両方の良さを活かした読書活動の啓発を推進していく必要があります。」の記述を追加する。

【修正点 3】

市民意見 No.56 は、「親子の読書を通じたコミュニケーション促進」についての意見であり、市民ご自身の体験から、保護者が読んだ本を子どもも読む体験や、読書を通じた親子の対話が、いかに家庭内のコミュニケーションを深め、子どもの読書習慣形成に繋がるかを示す、示唆に富んだご意見である。

この観点から、このご意見は、「家庭における読書活動の推進」という本プランの重要な柱に対し、具体的なイメージと効果を付与するものであり、施策の実効性を高める上で重要であると判断した。

そのため、素案 P.21 の 4 主要施策《アクション》、(1)家庭における読書活動の推進、②家読(ファミリー読書)に、「保護者がかつて読んだ本を子どもに勧めて子どもが読む」の記述を追加する。

【修正点 4】

市民意見 No.58 は、「保護者への柔軟な読書観の啓発」についての意見であり、保護者が子どもの選んだ本を否定する場面があることを指摘し、子どもが自由に本を選ぶことの価値、そして親世代の読書観(読書に対する保護者の考え方)を柔軟にする情報発信の必要性を訴える、重要なお指摘である。

この観点から、子どもの健全な読書習慣形成には保護者の理解と柔軟な対応が不可欠であり、本プランの理念にも深く関わるため、反映すべきと判断した。

そのため、素案 P.21 の 4 主要施策《アクション》、(1)家庭における読書活動の推進、③親子で読書に親しむ機会の提供に、「保護者に対し、子どもの読書に対する好奇心を尊重しつつ、年齢や発達段階に応じた本の選び方などについても啓発を行います。」の記述を追加する。

【修正点 5】

市民意見 No.95 は、「学校と図書館のイベント連携強化」についての意見であり、学校と図書館が連携し、「子ども読書の日」のようなイベントを協力して実施することへの具体的な提案である。

この提案が、学校と図書館の連携強化という本プランの基本方針のもと、イベントを通じた読書推進の実効性を高める上で有効であると判断した。

そのため、素案 P.22 の (2)学校における読書活動の推進、②学校、学校図書館と市立図書館との連携強化に、「また、「北九州市子ども読書の日」などのイベントにおいて、学校と各市立図書館が協働で実施する企画をさらに充実させます。」の記述を追加する。

【修正点 6】

市民意見 No.143 は、「地域での読書ボランティア活動の促進」についての意見であり、市立図書館が実施する読書ボランティアによる「おはなし会」を、地域の様々な施設で実施することの重要性を示し、地域における読書活動の機会を増やし、ボランティア活動を活発化させることを期待する、示唆に富んだご意見である。

この観点から、このご意見は、「地域と連携した読書活動の推進」という本プランの重要な方向性を強化する上で、有効であると判断した。

そのため、素案 P.24 の (4)地域(子育て関連施設、市民センター)における読書活動の推進、②子育て関連施設(児童館、放課後児童クラブ、子ども食堂等)、市民センター等における読書活動の支援に、「各施設での読み聞かせ活動や図書の貸出制度の推進とあわせて、市立図書館の読書ボランティアによる「おはなし会」の実施などを通じて、子どもたちが地域で読書を楽しめる環境を整えます。」の記述を追加する。

【修正点 7】

市民意見 No.153 は、「中高生向け学習スペースの拡充」についての意見であり、中高生が図書館を「勉強する場」として利用するニーズが高いこと、そして「多少話せる学習スペース」や「静寂な個人学習スペース」といった多様な学習環境へのニーズがあることを示唆する、具体的にご意見である。

この観点から、中高生が図書館を多様な目的で利用できるよう、学習ニーズに対応した環境整備が不可欠であり、本プランの重要な方向性を強化するものと判断した。

そのため、素案 P.31 の **中高生**◆安心できる居場所とコミュニティ活動の推進に、「特に、グループ学習や話し合いができる“会話が可能な学習スペース”の整備を検討し、多様な学習スタイルに対応します。」の記述を追加する。

【その他の意見について】

今回、直接修正として取り上げなかった意見についても、決して軽視しているわけではない。

それらの多くは、すでに本プランの理念や方針に合致しているため「記載済み」と判断したもののや、今後の具体的な施策展開において「参考」とするもの、「継続的に検討」していくべき課題として認識している。

第4次子ども読書プランの主な成果

- ・絵本パック配布《配布率99%》→ 家読の充実
- ・本市独自に子ども読書の日の設定→ 読書に取り組む機運の醸成
- ・子ども司書・ジュニアサポーターの養成→ コアファンの増加
- ・子ども電子図書館オープン《R3.4》→ 一人一台端末の有効活用
どこでも読書できる環境の確立など

子どもの読書活動の主な課題

- ・【読書量】児童生徒の4割が、ほとんど本を読まない(10分以下)
- ・【図書館利用】利用頻度が低く、活用用途が限られている
→ ほとんど利用しないが7割以上 中高生は学習室の利用に偏る
- ・【本の活用】調べたり学んだりするための活用が少ない
- ・【ニーズの多様化】居場所づくり 読書バリアフリーなど
→ 多様な子どもたちへの読書機会の確保 安心してくつろげる場

子どもの読書活動を取り巻く環境の変化

- ・読書バリアフリー法の施行
- ・令和の日本型学校教育の推進 ・GIGAスクールの推進
- ・こどもまんなか社会の実現
- ・北九州市教育大綱、「北九州市こどもまんなか教育プラン」
「北九州市立図書館基本計画」等に基づいた子どもの読書活動の一層の推進

読書の意義

- 子どもの、新しいことを知りたい、理解したいという「知的好奇心」を育むもの
- 読解力、表現力、思考力、想像力、問題解決力など多くの「生きる力」を身に付けることに役に立つもの

目指す姿

すべての子どもが、日々の生活の中ですすんで本を手にとって読み、子ども同士や家族などと楽しく語り合う日常

- 本との出会いを楽しみにする子ども
- 本から学び、知ることの喜びを感じる子ども
- 読書の楽しさ、大切さを知り、発信でき、生涯に渡って読書に親しもうとする子ども

3つの方向性

学ぶ <本で学ぼう>

やすらぐ <本を手にくつろごう>

楽しむ <読書を楽しもう>

取組の方針

各発達段階における
重点方針



乳幼児期
小学生
中高生

- ・早期に本に親しむ習慣がつくよう、家庭や関係機関相互の連携を深める
- ・絵本から児童書への円滑な移行をすすめる
- ・読書の幅を広げ、日常的に読書に親しめるようにする
- ・多様な目的やニーズに対応し、主体的に図書館や本を活用して学びを広げることができるようにする

成果指標

《成果指標》 乳幼児期

市立図書館での読み聞かせやおはなし会の開催回数
及び参加者数

《成果指標》 小学生

月に1冊も本を読まない小学生の割合

《成果指標》 中高生

月に1冊も本を読まない中学生・高校生の割合
市立図書館を全く利用しない中学生・高校生の割合

- ① はじめての絵本事業の推進
・絵本の配付 ・講座、交流促進 ・啓発活動
- ② 家読(ファミリー読書)の推進
・読書カード ・電子図書館 ・啓発活動
- ③ 親子で読書に親しむ機会の提供
・イベントの充実 ・読み聞かせの推進
- ④ 多様な子どもたちの読書機会の確保のための支援
・電子図書館 ・貸出しの充実(学校等貸出し図書セットの利活用) ・情報提供(コンテンツ紹介等)

家庭における
読書活動の推進

学ぶ
知識を広げ、心を豊かにし、自分自身の成長を促進

ビジョン/目指す姿

すべての子どもが、日々の生活の中ですすんで本を手にとって読み、子ども同士や家族などと楽しく語り合う日常

楽しむ
読書によるつながり「読書コミュニティ」を通して楽しく豊かな生活を創出

地域(子育て関連施設、市民センターなど)
における読書活動の推進

ミッション/方向性

やすらぐ
好きな本に触れながら、心安らぐひとときを提供

アクション/主要施策

- ① 学校図書館のより効果的な利活用の促進
・学校図書館の体制強化、図書館資料及びレファレンスサービス機能の充実
- ② 学校、学校図書館と市立図書館との連携強化
・市立図書館の見学 ・学校の取組みの掲示
・読み聞かせボランティアの派遣
・学校等貸出図書セットの利活用
- ③ 学校まるごと図書館の推進
・本が身近にある環境の充実 ・授業お役立ちブックリストの活用
・電子図書館の活用
- ④ 読書を通じた交流の実施
・ビブリオバトル、ブックトーク等の実施

学校における
読書活動の推進

- ① 多様な子どもたちへの読書機会の確保
・読書バリアフリー、電子図書、外国籍対応等
- ② 主体的・探究的な学びへの支援
・講座の開設 ・学習室利用促進 ・情報提供
- ③ 安心して過ごせる居場所づくりの創出
・くつろげる、交流する空間の設置
- ④ 楽しむための各種取組の創意工夫
・読書の日イベント充実 ・その他イベントの開催
・地域クラブ(図書クラブ)の設立
- ⑤ 読書ボランティアなどの育成・支援
・地区図書館との連携強化 ・ボランティアバンクの活用
- ⑥ 主体的に読書活動に関わる子どもの育成、支援
・子ども司書養成、ジュニアサポーター

市立図書館における
読書活動の推進

- ① 幼稚園・保育所等における読書活動の支援
・読み聞かせ、貸出の推進、
・研修の開催、情報提供
- ② 子育て関連施設(児童館、放課後児童クラブ、子ども食堂等)、市民センター等における読書活動の支援
・読み聞かせ、貸出の推進、啓発活動
- ③ 文化施設等との相互協力
・イベント協力 等
- ④ 地元団体・地元企業などとの協力
・大学、商業施設とのイベント協力等
- ⑤ コミュニティ・スクールと学校図書館等の連携
・地域による学校図書館の読書活動支援

主要施策

北九州市子ども読書プラン

(第5次北九州市子ども読書活動推進計画)

～ 市民全体で取り組む子どもの読書 ～

令和8年3月

北九州市教育委員会

📖 子どもの知的好奇心と読書活動 📖

子どもの知的好奇心は、学びと成長の原動力です。これは新しいことを知りたい、理解したいという自然な欲求であり、子どもたちはこの好奇心を通じて世界を探求します。子どものころから知的好奇心を育むことは非常に重要です。それにより、柔軟な思考力や問題解決能力が養われ、将来の様々な課題に対応する力が身につきます。

読書は、子どもたちの知的好奇心を育むための非常に有効な手段です。読書を通じて、子どもたちは新しい世界や異なる視点を知ることができ、想像力を広げることができます。様々なジャンルの本を読むことで、多角的な思考力が養われ、異なる文化や価値観に触れることによって、共感力や理解力も深まります。子どもが本を通じて新しいアイデアや概念を発見するたびに、その知的好奇心はさらに刺激され、持続的な学びの姿勢が形成されます。

また、読書は単なる情報の取得を超えて、豊かな人間性を育む基盤となります。したがって、日々の生活において様々な本との出会いを大切にし、子どもたちが自由に本を選び、読む環境を整えることは非常に重要です。本を通じて知識の扉を開くことができれば、子どもたちは自分自身の可能性を広げ、未来への準備を着実に進めることができるでしょう。



目次

		通しの ページ番号
第1章	計画の策定にあたって	
1	計画策定の趣旨	25
2	位置づけ	25
3	計画の期間	26
4	推進体制	26
第2章	これまでの取組みの成果と課題等	
1	前計画の概要	27
2	前計画の主な取組みと成果	27
3	指標に基づいたこれまでの成果	31
4	北九州市の子どもの読書活動の課題	34
5	子どもの読書を取り巻く環境の変化	39
第3章	これからの子ども読書活動推進計画	
1	目指す姿《ビジョン》	42
2	3つの方向性《ミッション》	43
3	取組みの方針と成果指標	44
4	主要施策《アクション》	45
	(1) 家庭における読書活動の推進	45
	(2) 学校における読書活動の推進	46
	(3) 市立図書館における読書活動の推進	47
	(4) 地域における読書活動の推進	48
5	3つの方向性・取組みの方針・主要施策の関連性	49
	(1) 3つの方向性による主要施策の概要整理	49
	(2) 3つの発達段階による主要施策の概要整理	53
参 考	計画策定の経過	57
	北九州市子ども読書活動推進会議 委員名簿	58

第1章 計画の策定にあたって

1 計画策定の趣旨

北九州市では、平成27年6月、「北九州市子ども読書活動推進条例」（以下、「条例」）が常任委員会提出議案として上程され、7月3日に公布・施行されました。

この条例の趣旨を実現するため、「新・北九州市子ども読書プラン（第3次子ども読書活動推進計画）」（平成28年度～令和2年度）を策定しました。また、平成30年12月には、子どもの読書活動の推進拠点となる「子ども図書館」を開館し、子ども図書館、学校図書館、地区図書館が三位一体となって子どもの読書活動推進に取り組む体制が整いました。

その後、第4次子ども読書活動推進計画（令和3年度～令和7年度）を策定し、北九州市独自の「子ども読書の日」の設定や、子ども電子図書館の開設など、子どもの読書環境の充実を図ってまいりました。

その間、読書バリアフリー法の施行や、令和の日本型学校教育の推進、こどもまんなか社会の実現など、子どもの読書を取り巻く環境は大きな変化を遂げています。

そこで、条例に基づき、これまでの読書プランの成果や課題、子どもの読書を取り巻く環境の変化を踏まえ、今後3年間の目指す姿、方向性、取組方針などを示した「北九州市子ども読書プラン（第5次北九州市子ども読書活動推進計画）」（以下、「本計画」）を新たに策定することとしました。

子どもの読書活動推進に関する動き

H27	子ども読書活動推進条例
H28	第3次子ども読書活動推進計画
H29	子ども図書館開館準備・リニューアル工事
H30	子ども図書館開館
R3	第4次子ども読書活動推進計画 子ども電子図書館開設
R4	（第6次学校図書館整備等5か年計画）
R5	（子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画）
R6	北九州市こどもまんなか教育プラン
R7	北九州市立図書館基本計画
R8	第5次子ども読書活動推進計画

（ ）内は、国の計画

2 位置づけ

本計画は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」第9条第2項、条例第6条の規定に基づく、市町村が定める「市町村子ども読書活動推進計画」として位置づけられます。

また、「北九州市基本構想・基本計画」の分野別計画である、「北九州市こどもまんなか教育プラン」（令和6年8月策定）に掲げられた「市民の学びを支える図書館の機能強化」の取組を推進する個別計画であるとともに、令和7年1月に策定した「北九州市立図書館基本計画」の基本目標 1「学びを支え、豊かなときを創造する図書館」の取組方針2「こどもや若者の読書活動の推進」との関連性をもち、子どもの読書活動推進に関する基本方針や具体的な施策を個別の計画としてまとめています。

さらに、北九州市立図書館の運営に係る部分について、「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律（読書バリアフリー法）」第8条第1項に定める「地方公共団体における視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する計画」の一部として位置づけます。

3 計画の期間

(1)計画の期間

本計画の計画期間は令和8年度から令和10年度までの3年間とします。

ただし、計画期間中であっても、子どもの読書環境や社会経済状況の変化、市民ニーズ、国の動向、北九州市子ども読書活動推進会議における審議などを踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行います。

(2)計画対象

本計画では、北九州市子ども読書活動推進条例における「子ども」の定義に従い、おおむね18歳以下の者を対象とします。

4 推進体制

「北九州市子ども読書活動推進条例」に規定された「北九州市子ども読書活動推進会議」に対し、毎年、本計画に掲げる施策等の進捗を報告し意見を聴くとともに、子ども図書館がイニシアティブをとり、関係機関と連携・協力しながら、スピード感を持ち、柔軟な発想で各施策を推進します。

「北九州市子ども読書活動推進会議」とは、

「北九州市子ども読書活動推進条例」第17条に規定され、子どもの読書活動の推進に関する基本的事項について、北九州市教育委員会の諮問に応じ、調査及び審議を行うための機関。

構成：市民、学識経験者、その他教育委員会が適当と認める者

人数：15名以内

任期：2年

【参考】

「北九州市子ども読書活動推進条例」

平成27年6月の市議会定例会において、常任委員会提出議案として上程。全会派の賛成により可決、同年7月に公布・施行。

第1条

この条例は、本市における子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、市の責務を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって本市の子どもの生きる力を育み、健やかな成長に資することを目的とする。